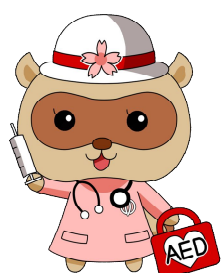


令和6年版 (2024年版)

消防年報



湯河原町消防本部



は じ め に

この年報は、湯河原町の消防現勢と令和5年中（一部令和6年）における消防業務の実績及び統計を集録し、将来の消防対策の参考に資するとともに、消防の実態を紹介することを目的として編集しました。

本書が広く活用され、“湯河原消防”に対するご理解ご認識を深めていただき、今後における消防行政の推進にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年7月

湯河原町消防本部

全国統一防火標語

あなたは火事の恐ろしさを知らない	(昭和 43 年度・1968)
今捨てたタバコの温度が700度	(昭和 44 年度・1969)
防火三百六十五日	(昭和 45 年度・1970)
いま燃えようとしている火がある	(昭和 46 年度・1971)
慣れた火に 新たな注意	(昭和 47 年度・1972)
隣にも 声かけあって よい防火	(昭和 48 年度・1973)
生活の 一部にしよう 火の点検	(昭和 49 年度・1974)
幸せを 明日につなぐ 火の始末	(昭和 50 年度・1975)
火災は人災 防ぐはあなた	(昭和 51 年度・1976)
使う火を 消すまで離すな 目と心	(昭和 52 年度・1977)
それぞれの 持ち場で生かせ 火の用心	(昭和 53 年度・1978)
これくらい と思う油断を 火が狙う！	(昭和 54 年度・1979)
あなたです！ 火事を出すのも 防ぐのも	(昭和 55 年度・1980)
毎日が防火デーです ぼくの家	(昭和 56 年度・1981)
火の用心 心で用心 目で用心	(昭和 57 年度・1982)
点検は 防火のはじまり しめくくり	(昭和 58 年度・1983)
“あとで” より “いま” が大切 火の始末	(昭和 59 年度・1984)
怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」	(昭和 60 年度・1985)
防火の大役 あなたが主役	(昭和 61 年度・1986)
消えたかな？ 気になるあの火 もう一度	(昭和 62 年度・1987)
その火 その時 すぐ始末！	(昭和 63 年度・1988)
おとなりに あげる安心 火の始末	(平成 元 年度・1989)
まず消そう 火への鈍感 無関心	(平成 2 年度・1990)
毎日が 火の元警報 発令中	(平成 3 年度・1991)
点検を 重ねて築く 火災ゼロ	(平成 4 年度・1992)
防火の輪 つなげて広げて 無くす火事	(平成 5 年度・1993)
安心の 暮らしの中心 火の用心	(平成 6 年度・1994)
災害に 備えて日頃の 火の用心	(平成 7 年度・1995)
便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ	(平成 8 年度・1996)
つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火	(平成 9 年度・1997)
気をつけて はじめはすべて 小さな火	(平成 10 年度・1998)

あぶないよ ひとりぼっちにした その火	(平成 11 年度・1999)
火をつけた あなたの責任 最後まで	(平成 12 年度・2000)
たしかめて 火を消してから 次のこと	(平成 13 年度・2001)
消す心 置いてください 火のそばに	(平成 14 年度・2002)
その油断 火から炎へ 災いへ	(平成 15 年度・2003)
火は消した? いつも心にきいてみて	(平成 16 年度・2004)
あなたです 火のあるくらしの 見はり役	(平成 17 年度・2005)
消さないで あなたの心の 注意の火。	(平成 18 年度・2006)
火は見てる あなたが離れる その時を	(平成 19 年度・2007)
火のしまつ 君がしなくて 誰がする	(平成 20 年度・2008)
消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子	(平成 21 年度・2009)
「消したかな」 あなたを守る 合言葉	(平成 22 年度・2010)
消したはず 決めつけしないで もう一度	(平成 23 年度・2011)
消すまでは 出ない行かない 離れない	(平成 24 年度・2012)
消すまでは 心の警報 ON のまま	(平成 25 年度・2013)
もういいかい 火を消すまでは まあだだよ	(平成 26 年度・2014)
無防備な 心に火災が かくれんぼ	(平成 27 年度・2015)
消しましょう その火その時 その場所で	(平成 28 年度・2016)
火の用心 ことばを形に 習慣に	(平成 29 年度・2017)
忘れてない? サイフにスマホに 火の確認	(平成 30 年度・2018)
ひとつずつ いいね! で確認 火の用心	(令和 元 年度・2019)
その火事を 防ぐあなたに 金メダル	(令和 2 年度・2020)
おうち時間 家族で点検 火の始末	(令和 3 年度・2021)
お出かけは マスク戸締り 火の用心	(令和 4 年度・2022)
火を消して 不安を消して つなぐ未来	(令和 5 年度・2023)
守りたい 未来があるから 火の用心	(令和 6 年度・2024)

目 次

- ・ はじめに
- ・ 全国統一防火標語
- ・ 目 次

【目 次】

1 町 勢

町章／湯河原町民憲章／町の木・町の花・町の鳥	1
執行部／歴代湯河原町長／歴代湯河原町副町長等	2
地勢／沿革	3
歴代消防長／歴代消防署長	4
叙位・叙勲者	6
湯河原町消防のあゆみ	7

2 管 内 情 勢

位置・面積／人口・世帯数／所在地	15
町勢及び消防吏員／地区別人口・世帯数	16
消防配置図	17

3 組 織・職 員

消防の組織	18
消防本部・消防署事務分掌	19
消防力の整備指針と現有（人員）／消防職員配置状況	21
消防職員の年齢・勤続年数・居住地状況	22
特殊技能資格取得状況	23

4 予 算

消防費の比較／消防予算科目別状況	24
------------------------	----

5 施 設・機 械

消防力の整備指針と現有（署所）／消防庁舎配置状況（常備） ／消防力の整備指針と現有（車両）	25
消防車両一覧表	26
消防力の整備指針と現有（水利）／管区別水利配置状況	28

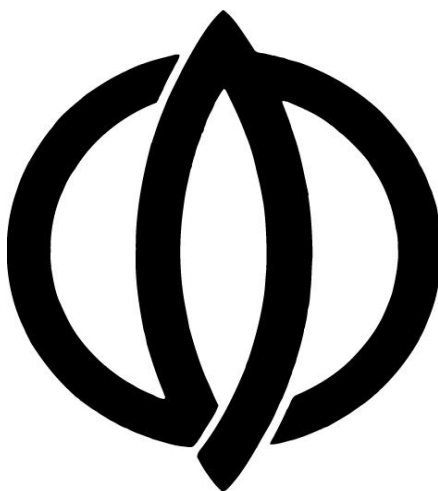
6 予 防 （裏面 全国統一危険物安全推進標語）

建築同意事務処理状況の推移	29
防火対象物と防火管理者選任状況	30
建築同意・予防査察・消防用設備等設置届出検査等	32
中高層建築物・防災管理者、自衛消防組織届出対象物状況	34
予防関係の申請・届出状況	35
危険物製造所等貯蔵量別施設数	36

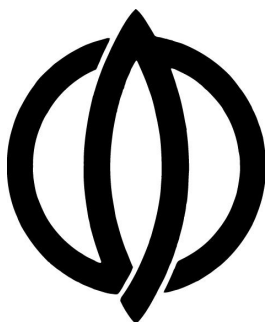
	危険物各種申請・届出状況	37
	防火団体・外郭団体	38
7	火 災	
	火災状況	39
	月別火災発生状況	40
	覚知時間別火災状況	42
	火災の推移	43
	消防本部発足以来の主な火災	44
8	救 急	
	月別救急活動状況	45
	地区別救急活動状況（湯河原町・真鶴町・熱海市泉地区・管外） ／年齢区分別搬送人員／傷病程度別搬送人員	46
	署所別救急活動状況（本署・奥湯河原分署・真鶴分署） ／収容所要時間別搬送人員／時間別救急出場件数	47
	救急隊員の行った応急処置状況	48
	救急車積載品	49
	救急の推移	50
9	救 助	
	救助活動状況／地域別救助出場状況	51
	時間別救助出場状況／救助の推移	52
	災害対応特殊ポンプ自動車（救助仕様）装備品	53
10	通 信	
	高機能消防指令センター機器構成図	54
	無線局配置状況	55
	無線局使用状況	56
11	気 象	
	天候別日数／月別気象状況	57
	風向／気温	58
	気象通報受信状況	59
12	消 防 団	
	歴代消防団長	60
	消防団員状況／消防団員報酬（年額）／消防団員手当 ／消防団員配置状況	61
	消防団員年齢・勤続年数／消防団員職業状況	62
	消防団の現況／消防団詰所設置状況	63
	消防団ポンプ配置状況	64
	町消防操法大会優勝分団	65

1 町 勢

町章／湯河原町民憲章／町の木・町の花・町の鳥	1
執行部／歴代湯河原町長／歴代湯河原副町長等	2
地勢／沿革	3
歴代消防長／歴代消防署長.....	4
叙位・叙勲者	6
湯河原町消防のあゆみ	7



町章



昭和36年3月28日制定

「ゆ」の字を図案化し、みかんの断面と温泉を表し、平和と繁栄を象徴した。

湯河原町民憲章

湯河原町民憲章は、わたしたち町民の生活の道標^{みちしるべ}です。

まちづくりの実践活動に努め、誰もが心に泉のもてる誇り高いふるさとの建設を進めましょう。

- 1 健康をよこび、思いやりに満ちた明るく住みよいまちをつくりましょう
- 1 自然をはぐくみ、青空のもとにさわやかな緑と花のまちを築きましょう
- 1 伝統を重んじ、香り高い文化の生まれるまちを創りましょう
- 1 教養を深め、こぞって時代にさきがけた“地球民”をめざしましょう
- 1 訪れる人々を温かく迎え、世界にはばたくまちを拓きましょう

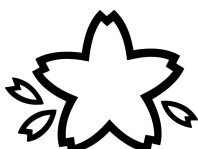
昭和61年3月1日制定

町の木・町の花・町の鳥

木



椿



桜

花



みかん

鳥



めじろ

昭和61年3月1日制定

執 行 部

(令和6年7月1日現在・敬称略)

町 長 内 藤 喜 文 (令和6年6月23日就任)

消 防 長 貝 瀬 功 (令和6年4月1日就任)

消 防 団 長 高 橋 則 吉 (令和6年4月1日就任)

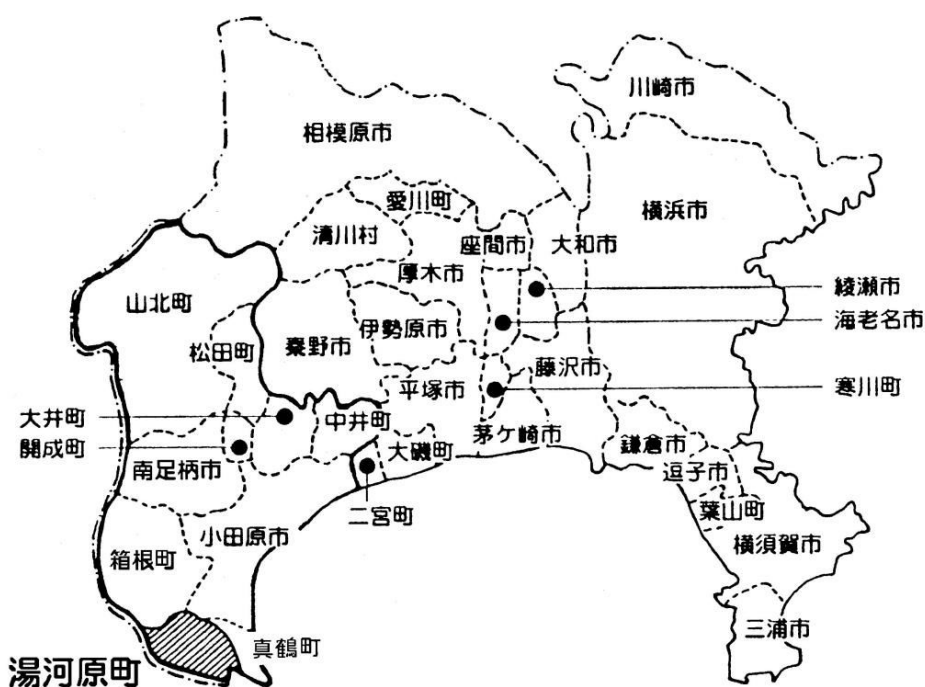
歴 代 湯 河 原 町 長 (町村合併後)

歴 代	氏 名	就 任	退 任	任 期
1～3	八 亀 武 雄	昭和30年5月6日	昭和42年4月29日	3 期
4・5	高 杉 茂 利	昭和42年5月6日	昭和50年5月5日	2 期
6・7	杉 山 實	昭和50年5月6日	昭和58年5月5日	2 期
8・9	小 澤 忠 一	昭和58年5月6日	平成3年5月5日	2 期
10	丸 山 孝 夫	平成3年5月6日	平成7年5月5日	1 期
11～13	米 岡 幸 男	平成7年5月6日	平成19年5月5日	3 期
14～18	富 田 幸 宏	平成19年5月6日	令和6年5月5日	5 期
19	内 藤 喜 文	令和6年6月23日	在 任	1 期

歴 代 湯 河 原 町 副 町 長 等 (町村合併後)

	歴 代	氏 名	就 任	退 任	備 考
助 役	1	小 澤 栄三郎	昭和30年10月24日	昭和34年3月19日	
	2	沢 村 佐 市	昭和36年8月15日	昭和38年6月8日	
	3	室 伏 孝 久	昭和39年6月24日	昭和43年6月23日	初代消防長歴任
	4・5	林 泰 助	昭和44年2月1日	昭和48年4月30日	第3代消防長歴任
	6・7	須 藤 近 喜	昭和48年6月26日	昭和56年6月25日	第2代消防長歴任
	8	小 澤 忠 一	昭和56年7月4日	昭和58年3月15日	
	9	高 橋 達 昇	昭和58年5月19日	昭和62年5月18日	
	10	二 見 完	昭和62年5月19日	平成3年5月18日	
	11	室 伏 富 夫	平成4年1月28日	平成7年5月5日	
	12・13	横 井 彦 之	平成7年5月22日	平成15年5月21日	第9代消防長歴任
	14	鈴 木 讓	平成17年3月18日	平成19年3月9日	
副 町 長	1～3	露 木 高 信	平成21年7月1日	令和3年1月31日	第13代消防長歴任
	4	高 橋 正	令和3年2月1日	令和6年6月23日	

神奈川県における湯河原町の位置



地 勢

J R 東海道本線を東京から約 100 km、神奈川県 of 西南端に位置する湯河原町は、相模灘を東に望み、西・南・北の三方を箱根外輪山や伊豆・熱海の山々に囲まれ、一年を通じ温暖で、風光明媚な環境にあります。

鞍掛山に源を発する千歳川は、神奈川県と静岡県（熱海市及び函南町）の県境であり、箱根外輪山に源を発する藤木川と合流している。この千歳川と、もう 1 本の大観山に源を発する新崎川とに挟まれた沖積地に展開するゆるやかな丘陵地を形成し、そのほかは比較的急傾斜の山地で形成されている。

沿 革

湯河原町は、古くは万葉の時代から温泉地として人々に知られていた。江戸時代には、現在の福浦地区を除く宮上村・宮下村・門川村・城堀村・鍛冶屋村・吉浜村を土肥六ヶ村とした。明治 17 年に宮上村・宮下村・門川村・城堀村・鍛冶屋村・吉浜村の六ヶ村が連合して吉浜村に戸長役場を置いて吉浜村外五ヶ村とした。

明治 22 年 4 月町村制が施行され、宮上村・宮下村・門川村・城堀村の四ヶ村を併せて土肥村に、鍛冶屋村・吉浜村の二ヶ村を併せて吉浜村と称した。

大正 15 年 7 月 1 日に土肥村は湯河原町となり、昭和 15 年 4 月 1 日に吉浜村は吉浜町となった。昭和 21 年 8 月 1 日に福浦村は真鶴町外二ヶ村組合から分離し、新たに福浦村としての第一歩を踏み出した。そして湯河原町は観光地、吉浜町は農業地、福浦村は漁業地として一般の知るところとなった。

その後、昭和 28 年 9 月 1 日に公布された町村合併促進法に基づき、同 30 年 4 月 1 日に湯河原町・吉浜町・福浦村の二町一村が合併し、現在の湯河原町が誕生した。

歴 代 消 防 長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	室 伏 孝 久	昭和 43 年 4 月 1 日～昭和 43 年 6 月 23 日	助役兼消防長事務取扱
第 2 代	須 藤 近 喜	昭和 43 年 6 月 24 日～昭和 44 年 2 月 9 日	総務課長兼消防長事務取扱
第 3 代	林 泰 助	昭和 44 年 2 月 10 日～昭和 48 年 4 月 30 日	助役兼消防長事務取扱
第 4 代	山 口 辰 生	昭和 48 年 5 月 1 日～昭和 60 年 11 月 30 日	消防署長兼任期間有
第 5 代	桜 井 均	昭和 60 年 12 月 1 日～平成 元年 3 月 31 日	
第 6 代	木 村 昌 夫	平成 元年 4 月 1 日～平成 5 年 9 月 30 日	
第 7 代	松 本 光 男	平成 5 年 10 月 1 日～平成 7 年 9 月 30 日	
第 8 代	露 木 謙太郎	平成 7 年 10 月 1 日～平成 9 年 11 月 30 日	
第 9 代	横 井 彦 之	平成 9 年 12 月 1 日～平成 9 年 12 月 31 日	助役兼消防長事務取扱
第 10 代	高 橋 光 政	平成 10 年 1 月 1 日～平成 13 年 3 月 31 日	
第 11 代	小 澤 稔	平成 13 年 4 月 1 日～平成 15 年 6 月 30 日	
第 12 代	畑 敏 明	平成 15 年 7 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日	
第 13 代	露 木 高 信	平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日	総務部長兼消防長
第 14 代	秋 山 榮 作	平成 21 年 7 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日	平成 26 年 4 月 1 日再任
第 15 代	石 田 利 正	平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日	
第 16 代	大 出 勝 之	平成 30 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日	平成 31 年 4 月 1 日再任
第 17 代	菅 沼 安 幸	令和 2 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日	
第 18 代	貝 瀬 功	令和 6 年 4 月 1 日～在 任	

歴 代 消 防 署 長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	山 口 辰 生	昭和 43 年 4 月 1 日～昭和 57 年 3 月 31 日	
第 2 代	芳 賀 弘	昭和 57 年 4 月 1 日～昭和 60 年 3 月 31 日	
第 3 代	露 木 謙太郎	昭和 60 年 4 月 1 日～平成 7 年 3 月 31 日	
第 4 代	山 橋 信 治	平成 7 年 4 月 1 日～平成 11 年 9 月 30 日	
第 5 代	三 木 甫 昭	平成 11 年 10 月 1 日～平成 13 年 3 月 31 日	
第 6 代	山 橋 信 治	平成 13 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日	再 任
第 7 代	秋 山 榮 作	平成 19 年 4 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日	
第 8 代	齋 藤 茂	平成 21 年 7 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日	
第 9 代	石 田 利 正	平成 23 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日	
第 10 代	大 出 勝 之	平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日	
第 11 代	高 吉 裕 二	平成 30 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日	平成 31 年 4 月 1 日再任
第 12 代	岩 本 晃	令和 2 年 4 月 1 日～在 任	

叙 位・叙 勲 者

区 分	職・階級	氏 名	受章年月日	概 要
消 防 職 員	消 防 監	山 口 辰 生	平成 5 年 7 月 8 日	勲五等双光旭日章
	消 防 司 令	芳 賀 弘	平成 9 年 11 月 3 日 平成 24 年 4 月 2 日	勲六等单光旭日章 従 七 位
	消防司令長	三 木 甫 昭	平成 25 年 11 月 3 日	瑞 宝 单 光 章
	消 防 司 令	高 橋 俊 明	平成 26 年 11 月 11 日	瑞 宝 单 光 章
	消 防 監	露 木 謙太郎	平成 28 年 4 月 29 日	瑞 宝 单 光 章
	消防司令長	山 橋 信 治	平成 28 年 11 月 3 日	瑞 宝 单 光 章
	消防司令長	小 林 徹	平成 29 年 4 月 29 日	瑞 宝 单 光 章
	消 防 司 令	鈴 木 道 男	令和 元年 11 月 3 日	瑞 宝 单 光 章
	消 防 司 令	齊 藤 茂	令和 2 年 4 月 29 日	瑞 宝 单 光 章
	消 防 司 令	竹 下 実	令和 2 年 11 月 3 日	瑞 宝 单 光 章
	消防司令長	秋 山 榮 作	令和 3 年 4 月 29 日	瑞 宝 双 光 章
	消 防 司 令	室 伏 郁 夫	令和 3 年 11 月 3 日	瑞 宝 单 光 章
	消 防 司 令	志 村 和 美	令和 4 年 4 月 29 日	瑞 宝 单 光 章
	消防司令長	石 田 利 正	令和 5 年 11 月 3 日	瑞 宝 双 光 章
消 防 団 員	団 長	常 盤 興 一	昭和 44 年 4 月 29 日 平成 3 年 12 月 31 日	勲五等双光旭日章 従 六 位
	団 長	小石川 清 作	平成 元年 4 月 2 日	勲 五 等 瑞 宝 章
	団 長	福 井 三七夫	昭和 53 年 4 月 29 日	勲 五 等 瑞 宝 章
	団 長	深 澤 公 行	平成 3 年 11 月 3 日	勲六等单光旭日章
	団 長	鈴 木 嘉 一	平成 6 年 6 月 16 日	勲 五 等 瑞 宝 章
	団 長	岩 本 良 夫	平成 8 年 4 月 29 日	勲 五 等 瑞 宝 章
	団 長	藤 中 倉 藏	平成 28 年 11 月 3 日	瑞 宝 单 光 章
	団 長	加 藤 博	平成 30 年 4 月 29 日	瑞 宝 单 光 章
	団 長	岩 本 賢 一	平成 30 年 11 月 3 日	瑞 宝 双 光 章
	団 長	興 津 恒 夫	令和 3 年 4 月 29 日	瑞 宝 双 光 章
	副 団 長	島 袋 文 雄	令和 3 年 6 月 1 日	瑞 宝 单 光 章

湯河原町消防のあゆみ

明治22年 27年 2月 40年	・土肥村消防組（5部290人）発足（当時の主な機材はとび口、手桶） ・吉浜村消防組発足 ・土肥村消防組に手押しポンプを各部配備し、防火用タンクを主要箇所に設置する。
大正13年 15年 7月	・機械化を図るためガソリンポンプの導入を開始する。 ・土肥村が湯河原町となり、土肥村消防組を湯河原町消防組に改称する。
昭和14年 4月 15年 4月 16年～ 23年 3月 26年11月 30年 7月 31年 1月 36年 5月 42年 5月 42年 6月	・警防団令施行に基づき、湯河原町警防団に改称する。この頃、消防ポンプ車を2台購入し第3分団（宮下）及び第4分団（宮上）に配備する。 ・吉浜村消防組が吉浜村警防団に改称する。 ・吉浜村が町制となり、吉浜町警防団に改称する。 ・消防ポンプ車を第1分団（門川）に配備。その後、同ポンプ車は第2次大戦中に川崎市防衛を命ぜられ、昭和20年4月15日（日）に米軍機の川崎空襲により直撃弾を受け焼失する。 ・消防団令施行に基づき湯河原町消防団、吉浜町消防団にそれぞれ改称する。 ・湯河原町消防団の全分団に消防ポンプ車配備を完了する。 ・熱海市と消防相互応援協定を締結した。 ・湯河原町・吉浜町・福浦村が4月に町村合併し、初代の常盤與一消防団長のもと9個分団349人、消防ポンプ車8台、ガソリンポンプ1台で湯河原町消防団が発足する。 ・湯河原町消防協会発足 ・電報電話局の協力を得て、全分団に対し消防専用電話を設置した。 ・消防組織法第10条により消防本部及び消防署を置かなければならない市町村に指定される。 ・湯河原町役場総務課消防係にて救急業務を開始する。
昭和43年 4月 6月 7月 10月 12月	・消防本部、消防署を町役場分庁舎に設置〔設置場所：湯河原町門川439番地（現・湯河原町中央2-2-1）〕職員22人、消防ポンプ自動車2台、救急車1台及び指令車1台で常備消防が発足し、初代消防長（事務取扱）に助役の室伏孝久氏が就任する。 ・消防本部事務室、署待機室、仮眠室の増改築工事に着手 ・初代消防長 室 伏 孝 久 氏 退任 ・第2代消防長 須 藤 近 喜 氏 就任（役場総務課長兼消防長事務取扱） ・庁舎の増改築工事が完了し、出場体制を1隊7人計14人（2交替制）で編成 ・消防無線を整備（消防ポンプ自動車1台、指令車1台及び救急車に車載無線機を積載） ・特別救助隊の組織編制（隊員9人）
昭和44年 2月 4月 6月 10月	・消防ポンプ自動車（ミツバFC60型）1台購入 消防署に配備 ・第2代消防長 須 藤 近 喜 氏 退任（消防長事務取扱兼務を解く） ・第3代消防長 林 泰 助 氏 就任（助役兼消防長事務取扱） ・職員定数条例一部改正 消防職員定数30人 ・第1回都市消防レンジャー技術交換競技会に出場（隊員2名） ・県ポンプ操法大会に应用操法の部において、署と団で中継操法を実施
昭和45年 4月 7月 8月 昭和45年10月	・湯河原町防火安全対策協会発足 ・第2回都市消防レンジャー技術交換競技会に出場（隊員6名） ・県消防ポンプ操法大会に救助隊が出場 ・防火管理者上級講習会を開催（県と共催）
昭和46年 1月 3月 4月 5月 7月 11月 12月	・救急車（いすゞエルフ）1台購入 消防署に配備 ・消防本部及び消防団に消防庁長官から表彰旗授与 ・初代消防団長 常 盤 與 一 氏 退任 ・文化福祉会館に第7分団（吉浜・中央）詰所併設 〔RC造3階建 延べ面積1,324.92㎡ 占有面積96.12㎡〕 ・第2代消防団長 小石川 清 作 氏 就任（前副団長兼団長補佐） ・消防署エアerpック着装検閲大会の実施 ・水難救助訓練の実施（於：吉浜海岸） ・第3回都市消防レンジャー技術交換競技会に出場（隊員2名） ・県消防操法大会に消防署甲・乙隊合同で出場 ・第9分団（福浦）詰所新築〔木造一部鉄骨造2階建 延べ面積86.58㎡〕 ・職員定数条例一部改正 消防職員定数52人（改正前30人）
昭和47年 5月 8月	・熱海市との消防相互応援協定を変更 ・県消防操法大会出場 第3分団（宮下）優秀賞を受賞

12月	・小型動力ポンプ (B3級V38A) 購入 第9分団に配備 ・救助工作車 (いすゞTR30) 1台購入 本署に配備 ・消防ポンプ自動車 (いすゞTXG10) 1台購入 第7分団に配備
昭和48年 3月	・宮上区民会館に併設する宮上分署、消防独身寮及び第2分団 (宮上) 詰所が完成し、宮上分署が発足する。〔設置場所：湯河原町宮上229番地〕
4月	・第2代消防団長 小石川 清 作 氏 退団
5月	・第3代消防団長 福 井 三七夫 氏 就任 (前副団長兼団長補佐)
10月	・第3代消防長 林 泰 助 氏 退任 (退職)
11月	・第4代消防長 山 口 辰 生 氏 就任 (署長兼務)
12月	・第3分団 (宮下) 詰所新築 [RC造2階建 延べ面積102.16㎡] ・小型動力ポンプ (B3級) 1台購入 第7分団 (吉浜・中央) に配備 ・消防ポンプ自動車 (A2級) 1台購入 第6分団 (鍛冶屋) に配備
昭和49年 8月	・小型動力ポンプ (B3級) 1台購入 第8分団 (川堀) に配備
10月	・消防ポンプ自動車 (A2級) 1台購入 第5分団 (門川) に配備
11月	・第8分団 (川堀) 詰所新築 [S造2階建 延べ面積84.85㎡]
昭和50年 8月	・県消防操法大会出場 第5分団 (門川) 優秀賞を受賞
9月	・消防ポンプ自動車 (A2級) 1台購入 第9分団 (福浦) に配備
12月	・小型動力ポンプ (B3級) 1台購入 第1分団 (温泉場・奥湯河原) に配備 ・(社)日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台寄贈本署に配備
昭和51年 3月	・3月16日に真鶴との消防団事務を除く消防事務委託を締結し、真鶴分署を開署する。
4月	・真鶴町消防事務の受託により消防事務を開始
11月	・(社)日本損害保険協会から救急自動車1台寄贈 本署配備 ・消防ポンプ自動車 (A2級) 1台購入 第8分団 (川堀) に配備 ・小型動力ポンプ (B3級) 1台購入 第6分団 (鍛冶屋) に配備
12月	・職員定数条例一部改正 消防職員定数62人 (改正前52人)
昭和52年 3月	・第3代消防団長 福 井 三七夫 氏 退団
4月	・新消防庁舎開庁 [RC造3階建 延べ面積1,034.47㎡]
8月	・第4代消防団長 岩 本 良 夫 氏 就任 (前副団長兼団長補佐)
12月	・県消防操法大会出場 第2分団 (宮上) 優秀賞を受賞 ・第6分団 (鍛冶屋) 詰所新築 [鉄骨造2階建 延べ面積119.72㎡]
昭和53年 2月	・消防ポンプ自動車 (A2級) 1台購入 第4分団 (城堀) に配備
3月	・小型動力ポンプ (B3級) 1台購入 第2分団 (宮上) に配備 ・奥湯河原分署開設 〔設置場所：湯河原町宮上775-27 RC造2階建 区民会館併設延べ面積175.79㎡ 1階部分使用占有面積約100㎡〕
12月	・宮上分署廃止 (宮上分署占有部分は、第2分団 (宮上) 詰所として改築) ・小型動力ポンプ (B3級) 2台購入 本署・第3分団 (宮下) に配備
昭和54年 2月	・消防ポンプ自動車 (BD-I型) 2台購入 奥湯河原分署・真鶴分署に配備
4月	・湯河原・真鶴危険物安全協会発足
12月	・第4分団 (城堀) 詰所新築 [鉄骨造2階建 延べ面積113.50㎡]
昭和55年 2月	・はしご付消防自動車 (24級) 1台購入 本署に配備 ・消防ポンプ自動車 (BD-II型) 1台購入 第2分団 (宮上) に配備
4月	・職員定数条例一部改正 消防職員定数69人 (改正前62人)
8月	・県消防操法大会に出場 第1分団 (温泉場・奥湯河原)
10月	・(社)日本自動車工業会から救急車 (トヨタ2B型) 1台寄贈 本署に配備
11月	・小型動力ポンプ (B3級) 1台購入 第4分団 (城堀) に配備
12月	・消防指令車1台購入 ・消防ポンプ自動車 (CD-II型) 1台購入 第1分団 (温泉場・奥湯河原) に配備
昭和56年 3月	・第4代消防団長 岩 本 良 夫 氏 退団
4月	・第5代消防団長 鈴 木 嘉 一 氏 就任 (前副団長兼団長補佐)
11月	・予防査察車1台購入 消防本部に配備 ・小型動力ポンプ (B3級) 1台購入 第5分団 (門川) に配備
昭和57年 3月	・救急指令装置C型の設置工事完了 ・地震防災講演会の実施 (講師：静岡放送報道部デスク 川 端 信 正 氏) ・真鶴トンネル防災訓練を道路公団、真鶴町消防団及び小田原警察署と合同で実施する。 ・表示公表制度「防火基準適合表示要綱」に基づいて、管内の優良防火宿泊施設に対して第1回表示「適」マークの交付を行う。

4月	・機構改革により通信指令係新設
7月	・消防事務連絡車 1 台購入 消防本部に配備
9月	・小型動力ポンプ (B3級) 1 台購入 第 9 分団 (福浦) に配備
昭和58年 3月	・真鶴分署新庁舎完成 〔設置場所：真鶴町真鶴515-1 鉄骨造 2 階建消防団詰所併設 延べ面積307㎡ 1 階部分使用占有面積122㎡〕
7月	・横浜市消防局航空隊と合同で水難救助訓練を実施 (於：吉浜海岸)
10月	・水防工法講習会の開催 (講師：岩 橋 武 氏)
12月	・救急車 (ニッサン2B型) 1 台購入 本署に配備
昭和59年 2月	・地震防災講演会の開催 (講師：NHK解説委員 伊 藤 和 明 氏)
3月	・署内救助競技大会の実施
昭和59年 3月	・小型動力ポンプ (B3級) 1 台購入 第 7 分団 (吉浜・中央) に配備
6月	・第 9 回県下消防救助技術指導会 “はしご登はんの部” において、隊員 1 名が関東地区指導会に選出される。
	・水防工法実技の実施 (協力：小田原市消防本部)
7月	・湯河原町幼年消防クラブ発足
8月	・関東地区救助技術指導会に出場
9月	・「救急の日」に併せ、町内各地区の婦人会を対象に救急講習会を開催
	・消防ポンプ自動車 (CD-Ⅱ型) 1 台購入 第 3 分団 (宮下) に配備
12月	・小型動力ポンプ (B3級) 1 台購入 第 8 分団 (川堀) に配備
昭和60年 3月	・第 5 代消防団長 鈴 木 嘉 一 氏 退団
4月	・第 6 代消防団長 深 澤 公 行 氏 就任 (前副団長兼団長補佐)
8月	・原因調査用車両 1 台購入 消防本部に配備
9月	・(社)日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車 1 台寄贈 本署に配備
11月	・第 4 代消防長 山 口 辰 生 氏 退任 (退職)
12月	・第 5 代消防長 桜 井 均 氏 就任 (町長部局から出向 前民生部長)
	・消防ポンプ自動車 (CD-Ⅱ型) 1 台購入 第 9 分団 (福浦) に配備
昭和61年 7月	・救急車 (ニッサン2B型) 1 台購入 本署に配備
11月	・消防ポンプ自動車 (CD-Ⅰ型) 1 台購入 第 8 分団 (川堀) に配備
昭和62年 8月	・(財)日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車 (ニッサンアトラス) 1 台交付
10月	・湯河原町消友会発足
12月	・消防ポンプ自動車 (CD-Ⅱ型) 1 台購入 第 7 分団 (吉浜・中央) に配備
昭和63年 6月	・第13回県下消防救助技術指導会に出場 “はしご登はんの部” において、隊員 1 名が関東地区指導会に選出される。
7月	・第17回消防救助技術関東地区指導会に出場
9月	・深澤消防団長から団指令車 (トヨタクラウン) 寄贈
10月	・消防ポンプ自動車 (CD-Ⅰ型) 2 台購入 奥湯河原分署・真鶴分署に配備
	・消防ポンプ自動車 (CD-Ⅱ型) 1 台購入 第 5 分団 (門川) に配備
平成元年 2月	・消防出初式の自粛に伴い、優良消防団員表彰式を行う (於：観光会館)
3月	・第 5 代消防長 桜 井 均 氏 退任 (町長部局に復帰 総務部長)
4月	・第 6 代消防長 木 村 昌 夫 氏 就任
7月	・消防ポンプ自動車 (CD-Ⅱ型) 1 台購入 第 6 分団 (鍛冶屋) に配備
10月	・湯河原ロータリークラブから携帯用投光機 (エンジンライト 9 台) 寄贈 9 個分団に配備
12月	・隣接する静岡県 の田方地区消防組合と消防相互応援協定を締結
平成 2 年 3月	・第 6 代消防団長 深 澤 公 行 氏 退団
4月	・第 7 代消防団長 八 亀 義 臣 氏 就任 (前副団長兼第 1 中隊長)
10月	・救急車 (防振型3000cc) を購入 本署に配備
11月	・深澤前消防団長から操法用備品 (火点標的一式) 寄贈
12月	・救助工作車 (Ⅱ型) を購入 本署に更新配備
	・飛田京子様からの寄付により災害組織用救急箱を購入 署所に配備
平成 3 年 7月	・県津波対策訓練の実施 (於：吉浜海岸)
10月	・消防ポンプ自動車 (CD-Ⅰ型・電動式ホースレイヤー装備) の購入 本署に配備
平成 4 年 2月	・消防指令車 (トヨタクラウン) 購入
	・職員定数条例一部改正 消防職員定数77人 (改正前69人)
3月	・第 1 分団 (温泉場・奥湯河原) 詰所新築〔鉄骨造 2 階建 延べ面積127.60㎡〕
6月	・第17回県下消防救助技術指導会に出場 “はしご登はんの部” において、隊員 1 名が関東地区指導会に選出される。
7月	・第21回消防救助技術関東地区指導会に出場

9月	・第38回県消防操法大会に出場 第2分団（宮上）最優秀賞（優勝）を受賞
10月	・職員定数条例一部改正 消防職員定数84人（改正前77人）
11月	・消防団員定数条例一部改正 定数240人（改正前271人）
12月	・予防広報車（トヨタハイエース）購入
平成5年3月	・消防ポンプ自動車（CD-Ⅱ型）1台購入 第4分団（城堀）に配備
4月	・救急講演会の実施（講師：小田原市立病院 河野内科医長）
6月	・小型動力ポンプ（B3級）1台購入 第1分団（温泉場・奥湯河原）に配備
7月	・応援協定で実施していた熱海市泉地区の救急業務を4月1日から救急事務受託に移行する。
9月	・第18回県下消防救助技術指導会に出場 “はしご登はんの部” において、隊員1名が関東地区指導会に選出される。
10月	・第22回消防救助技術関東地区指導会に出場
12月	・第6代消防長 木村昌夫氏 退任（町長部局に復帰 総務部長）
平成6年2月	・第7代消防長 松本光男氏 就任（町長部局から出向 前民生部長）
6月	・高規格救急車を購入 本署に配備
平成7年1月	・救急特別研修会の開催（講師：東京消防庁 赤羽消防司令）
3月	・消防活動研修会の開催（講師：東京消防庁 日野消防司令）
4月	・1月17日に発生した兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）に伴い18日～24日までの7日間、救助工作車により隊員5名を救助応援のため神戸市消防局へ派遣する。
5月	・消防ポンプ自動車（CD-Ⅱ型）1台購入 第2分団（宮上）に配備
6月	・第7代消防団長 八亀義臣氏 退任
7月	・第8代消防団長 藤中倉蔵氏 就任（前副団長兼第3中隊長）
8月	・救急救命士1名資格取得
9月	・消防体育研修会の開催（講師：東京消防庁 島貫消防司令補）
10月	・第7代消防長 松本光男氏 退任（町長部局に復帰 情報公開準備室長）
11月	・第8代消防長 露木謙太郎氏 就任（前消防本部次長）
12月	・救急車（防振型3000cc）を購入 本署に配備
平成8年2月	・横浜市消防局航空隊と合同訓練を実施（於：県立湯河原高等学校）
4月	・火災原因調査研修会の開催（講師：東京消防庁 杉崎消防司令）
5月	・機構改革を実施し、消防本部に2課（管理課・警防課）設置
6月	・救急救命士1名資格取得（総員2名）
7月	・第21回県下消防救助技術指導会に出場 “はしご登はんの部” において隊員1名が関東地区指導会に選出される。
8月	・高度救助用資機材（画像探索機Ⅱ型、コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー、鉄筋カッター、削岩機、マット式空気ジャッキ）を購入 本署に配備
9月	・第25回消防救助技術関東地区指導会に出場
10月	・湯河原町消防本部消防職員委員会発足
11月	・救急救命士1名資格取得（総員3名）
12月	・消防ポンプ自動車（CD-Ⅱ型）1台購入 第1分団（温泉場・奥湯河原）に配備
平成9年6月	・八亀前消防団長から応急手当普及啓発用資機材（心肺蘇生訓練人形及び応急手当講習用パネル）寄贈
7月	・第22回県下消防救助技術指導会に出場 “はしご登はんの部” において隊員1名が関東地区指導会に選出される。
8月	・第26回消防救助技術関東地区指導会に出場 全国大会に選出される。
9月	・第26回全国消防救助技術指導会（千葉県消防学校）に出場
10月	・インパルス消火装置搭載の消防用軽自動二輪車（赤バイ）を2台購入本署に配備
11月	・消防二輪機動隊（赤バイ隊）の運用開始
12月	・救急救命士1名資格取得（総員4名）
平成10年1月	・第8代消防長 露木謙太郎氏 退任（退職）
3月	・第9代消防長 横井彦之氏 就任（助役兼消防長事務取扱）
4月	・水槽付消防ポンプ自動車（1,700ℓ）1台購入 本署に更新配備
5月	・第9代消防長 横井彦之氏 退任（消防長事務取扱兼務を解く）
6月	・第10代消防長 高橋光政氏 就任（町長部局から出向 前総務部長）
7月	・消防二輪機動隊（赤バイ隊）が、オレンジマラソン大会の伴走警備を行う（以後毎年実施）
8月	・機構改革により消防署を3部制（三交替制）とし、消防本部管理課を総務課に改称する。
9月	・国際ソロプチミスト湯河原から高度救命処置用訓練人形（1式）寄贈

7月	・第23回県下消防救助技術指導会に出場 “はしご登はんの部”において隊員1名が関東地区指導会に選出される。
8月	・第27回消防救助技術関東地区指導会に出場、全国大会に選出される。 ・第41回県消防操法大会出場 第2分団（宮上）が最優秀賞（優勝）を受賞、第16回全国消防操法大会に神奈川県代表として選出される。
10月	・第27回全国消防救助技術指導会（大阪市消防学校）に出場、“はしご登はんの部”において入賞する。 ・水難救助対策で潜水器具4式購入 本署に配備
12月	・奥湯河原分署に高度救命処置資機材装備の救急自動車を配備し、救急業務を開始 ・第16回全国消防操法大会（横浜市消防訓練センター）において、第2分団（宮上）が“ポンプ車の部”で、神奈川県代表として出場し、優良賞を受賞する。
平成11年3月	・救急救命士1名資格取得（総員5名）
4月	・第8代消防団長 藤 中 倉 蔵 氏 退団
8月	・第9代消防団長 加 藤 博 氏 就任（前副団長兼第2中隊長） ・藤中前消防団長から消防用簡易水槽4基（角形水槽1基、パネル水槽3基）寄贈
11月	・救急救命士1名資格取得（総員6名） ・水難救助対策で潜水器具を購入 本署に配備
12月	・救急救命士1名資格取得（総員7名） ・消防ポンプ自動車（CD-I型）1台購入 奥湯河原分署に配備
平成12年3月	・（財）神奈川県消防協会から消防団に表彰旗授与 ・岩本副団長から災害用ヘッドライト（50個）寄贈 消防団に配付
5月	・救急救命士1名資格取得（総員8名）
8月	・高規格救急自動車1台購入 本署に更新配備
10月	・真鶴分署に高規格救急自動車を配備し、救急業務を開始する。
11月	・消防ポンプ自動車（CD-II型）1台購入 第3分団（宮下）に配備
12月	・職員定数条例一部改正 消防職員定数81人（改正前84人） ・第2分団（宮上）詰所が完成〔鉄骨造2階建 延べ面積138.68㎡〕
平成13年1月	・県内緊急消防援助隊訓練に消防二輪機動隊（赤バイ隊）2台が参加（於：神奈川県総合防災センター）
3月	・第10代消防長 高 橋 光 政 氏 退任（町長部局に復帰 経済建設部長）
4月	・第11代消防長 小 澤 稔 氏 就任（町長部局から出向 前経済建設部長）
5月	・救急救命士1名資格取得（総員9名）
6月	・第26回県下消防救助技術指導会に出場 “はしご登はんの部”において隊員1名が関東地区指導会に選出される。 ・湯河原町女性防火クラブ発足
7月	・第30回消防救助技術関東地区指導会に出場 ・山北町丹沢湖において実施した県西地区消防合同訓練（水難救助訓練）を実施する。
12月	・消防ポンプ自動車（CD-I型）1台購入 真鶴分署に配備
平成14年2月	・消防団に（財）日本消防協会から竿頭授与
4月	・真鶴トンネルの防災対策に貢献したとして、日本道路公団より当消防本部が表彰を受ける。
5月	・救急救命士1名資格取得（総員10名）
平成15年2月	・湯河原町女性防火クラブに、（財）日本消防協会から優良婦人消防隊表彰授与 ・高規格救急自動車1台購入 奥湯河原分署に配備
3月	・（財）日本消防協会から消防団指令車（ミツビシパジェロ）1台交付
4月	・救急救命士1名資格取得（総員11名）
6月	・第11代消防長 小 澤 稔 氏 退任（町長部局に復帰 都市整備部長）
7月	・第12代消防長 畑 敏 明 氏 就任（町長部局から出向 前環境農政部長）
9月	・指揮車（マツダボンゴ）購入 警防課に配備
10月	・第16回全国女性消防操法大会に県代表として湯河原町女性防火クラブが出場した。
11月	・ゆめ公園において県西地区消防合同訓練（複合用途対象物火災訓練）を実施する。 ・消防ポンプ自動車（CD-I型）1台購入 第9分団（福浦）に配備
12月	・（財）日本消防協会から消防活動用二輪車（ヤマハセロー）3台交付、本署・奥湯河原分署・真鶴分署に配備
平成16年1月	・消防団員のための実践的な消防活動マニュアルビデオ（風水害編）製作に貢献したとして、（財）日本消防協会から本町消防団に表彰状授与
6月	・携帯電話からの119番間接受信の運用開始
8月	・（財）日本宝くじ協会から消火通報訓練指導車（けすゾウ君）1台交付
10月	・消防ポンプ自動車（CD-I型）1台購入 第8分団（川堀）に配備

11月	・ J R 東日本国府津車両センターにおいて、鉄道災害を想定した県西地区消防合同訓練を実施する。
12月	・ 真鶴トンネル防災対策として、車両火災を想定した消防・日本道路公団合同訓練を実施する。
平成17年 2月	・ 財団法人日本消防協会から消防団に「特別表彰まとい」を受章
7月	・ 湯河原ライオンズクラブから A E D トレーナー（1台）寄贈
9月	・ 緊急消防援助隊の八都県市合同防災訓練（会場：千葉市）に本町消火隊が参加する。
10月	・ 携帯電話からの119番直接受信の運用開始
11月	・ 消防ポンプ自動車（CD-I型）1台購入 第7分団（吉浜・中央）に配備
	・ 丹沢湖ダム広場において、山岳救助資器材を活用した県西地区消防合同の救出訓練を実施する。
平成18年 3月	・ 第9代消防団長 加藤 博氏 退団
4月	・ 第10代消防団長 岩本 賢一氏 就任（前副団長兼第3中隊長）
5月	・ 救急救命士1名資格取得（総員12名）
9月	・ 消防ポンプ自動車（CD-I型）1台購入 第5分団（門川）に配備
12月	・ 箱根町大涌谷において、火山ガス災害を想定した県西地区消防合同の救出救護搬送訓練を実施する。
平成19年 1月	・ 消防吏員の階級基準に準じ消防長の階級を消防司令長に変更
2月	・ 消防庁舎耐震補強工事完了
	・ 女性消防職員が救急小隊（日勤）へ配属される
3月	・ 高機能消防指令センター（I型）設備の設置工事完了（15日試験運用開始）
4月	・ 高機能消防指令センター（I型）設備の正式運用開始（1日正式運用開始）
10月	・ 消防ポンプ自動車（CD-I型）1台購入 第6分団（鍛冶屋）に配備
	・ 情報収集用オートバイ（リトルカブ）9台購入 消防団（全分団）に配備
	・ 救助資器材の充実を図るため、最新救助用資器材を購入 本署に配備
	・ 湯河原海浜公園前沖合において、多数傷病者発生の水難事故を想定した県西地区消防合同の水難救助訓練を実施した。
平成20年 3月	・ 財団法人日本消防協会から防災広報車（マツダボンゴ）1台交付
11月	・ 新横浜公園において、神奈川県内を震源とする強い直下型地震の発生を想定した緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練に本町救急隊が参加する。
12月	・ 高規格救急自動車1台購入 本署に更新配備
平成21年 3月	・ 第12代消防長 畑 敏明氏 退任（退職）
4月	・ 第13代消防長 露木 高信氏 就任（総務部長兼任）
6月	・ 第13代消防長 露木 高信氏 退任（7/1 副町長就任）
7月	・ 第14代消防長 秋山 榮作氏 就任（前消防署長）
12月	・ 屈折はしご付消防自動車（20 ^区 級・Σ型）1台購入 本署に更新配備
平成22年 2月	・ 横浜市消防局救助実践訓練に参加する。
7月	・ 第47回県消防操法大会出場 第6分団（鍛冶屋）が最優秀賞（優勝）を受賞、第22回全国消防操法大会に神奈川県代表として選出される。
10月	・ 消防本部指令車（ヴェルファイア）1台リースで導入
11月	・ 消防ポンプ自動車（CD-I型）1台購入 第4分団（城堀）に配備
平成23年 3月	・ 3月11日に発生した、東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）に伴い、11日～28日までの18日間、緊急消防援助隊（消火隊1、救急隊1、支援隊1 延べ26名）を派遣する。
8月	・ 東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）での大津波の発生を受け、津波対応避難訓練を署立会いの下、湯河原中学校で実施
9月	・ 湯河原海浜公園前沖合において、多数傷病者発生の水難事故を想定した箱根町消防本部合同の水難救助訓練を実施した。
11月	・ 箱根町において、山岳救助訓練を箱根町消防本部と合同で実施した。
12月	・ 横浜市消防局救助実践訓練に参加する。
平成24年 3月	・ 第10代消防団長 岩本 賢一氏 退団
4月	・ 第11代消防団長 興津 恒夫氏 就任（前副団長兼第2中隊長）
7月	・ 第48回県消防操法大会出場 第6分団（鍛冶屋）が優秀賞を受賞
10月	・ 三本コーヒー株式会社から高規格救急自動車1台が寄贈され本署に更新配備
11月	・ 消防ポンプ自動車（CD-I型）1台購入 第2分団（宮上）に配備
12月	・ 災害対応特殊消防ポンプ自動車1台購入 本署に配備
平成25年 6月	・ 湯河原町少年少女消防クラブ発足
11月	・ 消防ポンプ消防自動車（CD-I型）1台購入 本署に更新配備

11月	・湯河原町女性防火クラブが消防団120年・自治体消防65周年記念大会に伴う日本防火・防災協会会長表彰「優良婦人防火クラブ表彰」を受賞
平成26年4月	・第14代消防長 秋山 榮作氏 就任（再任用）
7月	・第49回県消防操法大会出場 第6分団（鍛冶屋）が優秀賞を受賞
11月	・消防ポンプ自動車（CD-I型）1台購入 第1分団（温泉場）に配備
12月	・第9分団（福浦）詰所新築〔鉄骨造1階建 延べ面積128.35㎡〕
	・消防ポンプ自動車（CD-I型）1台総務省から無償貸付 消防団に配備
平成27年3月	・湯河原町女性防火クラブが、財団法人日本消防協会から優良婦人消防隊表彰を受賞
	・第14代消防長 秋山 榮作氏 退任（退職）
4月	・第15代消防長 石田 利正氏 就任（前消防署長）
5月	・消防救急デジタル無線（共通波）運用開始
8月	・湯河原町少年少女消防クラブが徳島県で開催された全国交流会に参加
11月	・県西地区消防行政協議会合同訓練を真鶴トンネルで実施
	・高規格救急自動車1台購入 本署に更新配備
平成28年3月	・湯河原町消防本部・消防団が消防庁長官表彰「竿頭綬」を受章
5月	・消防救急デジタル無線（活動波）運用開始
7月	・第50回県消防操法大会出場 第2分団（宮上）が優秀賞を受賞
	・駿東伊豆消防本部と消防相互応援協定を締結
平成29年3月	・門川区津波避難タワー併設第5分団詰所新築〔鉄骨造2階建 延べ面積142.74㎡〕
	・湯河原町少年少女消防クラブが消防庁長官賞「優良な少年消防クラブ」を受賞
4月	・女性職員（救急救命士）が新たに2名採用され、女性の現職員が3名となる。
9月	・第38回9都県市合同防災訓練に参加する。
11月	・消防ポンプ自動車（CD-I型）1台購入 本署に配備
平成30年3月	・第15代消防長 石田 利正氏 退任（退職）
4月	・第16代消防長 大出 勝之氏 就任（前消防署長）
	・救急自動車（マタニティ・サポート119）1台購入 本署に配備し、運用開始
7月	・第51回県消防操法大会出場 第6分団（鍛冶屋）が優秀賞を受賞
8月	・湯河原町少年少女消防クラブが千葉県で開催された全国交流会に参加
10月	・消防ポンプ自動車（CD-I型）1台購入 第3分団（宮下）に配備
12月	・高規格救急自動車1台購入 本署に更新配備
平成31年4月	・第16代消防長 大出 勝之氏 就任（再任用）
令和元年12月	・高規格救急自動車1台購入 本署に救急5号車として更新配備
令和2年2月	・119番多言語対応運用開始
3月	・少年少女消防クラブ 総務大臣表彰を受賞
	・第16代消防長 大出 勝之氏 退任（退職）
	・第11代消防団長 興津 恒夫氏 退任
4月	・第17代消防長 菅 沼安幸氏 就任（前警防課長）
	・第12代消防団長 二見 浩一氏 就任（前副団長兼第1中隊長）
	・Net119緊急通報システム運用開始
	・女性職員が2名採用され、計4名となる。
6月	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第45回県消防救助技術指導会中止
7月	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第52回県消防操法大会中止
8月	・消防本部庁舎女子仮眠室等改修完了
10月	・消防本部指令車（ヴェルファイア）1台リースで更新
11月	・消防ポンプ自動車（CD-I型）2台購入 本署及び真鶴分署に配備
令和3年1月	・消防出初式 規模縮小開催
6月	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第46回県消防救助技術指導会中止
7月	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第53回県消防操法大会中止
	・7月3日に発生した、静岡県熱海市土石流災害に伴い、10日～12日までの3日間、熱海市伊豆山地区（伊豆山神社南西側）の人命救助活動のため、緊急消防援助隊（消防隊1延べ4名）を派遣する。
10月	・消防ポンプ自動車（CD-I型）1台購入 第9分団（福浦）に配備
令和4年1月	・消防出初式 防災コミュニティセンターで規模縮小開催
3月	・高機能消防指令センター設備の更新整備工事完了・運用開始
	・消防本部庁舎シャワー室等改修完了
4月	・女性職員が2名採用され、計6名となる。
	・消防団員定数条例一部改正 消防団員定数 220人（改正前240人）
7月	・第54回県消防操法大会出場 第5分団（門川）が優秀賞を受賞
10月	・高規格救急自動車1台購入 本署に更新配備

令和4年10月	・横浜市消防局航空隊と幕山公園梅林内で山岳救助訓練を実施する。
令和5年1月	・（公財）日本消防協会から消防団防災学習・災害活動車Ⅱ(ワンボックス型) 1台 交付
2月	・資機材搬送車1台購入 本署に更新配備
3月	・湯河原町少年少女消防クラブが消防庁長官賞「優良な少年消防クラブ」を受賞 ・湯河原町消防団が（公財）日本消防協会会長表彰「竿頭綬」を受章
4月	・無人小型航空機（ドローン）を1機購入 本署に配備し、運用開始
11月	・消防本部庁舎非常電源設備改修工事
12月	・指揮車（日産 キャラバン）購入 警防課に配備 ・奥湯河原分署シャワー室等改修工事完了
令和6年1月	・1月1日に発生した能登半島地震に伴い、9日～25日までの17日間、石川県輪島市の人命救助活動のため、緊急消防援助隊（消火隊1、後方支援隊1延べ25名）を派遣する。
3月	・第17代消防長 菅 沼 安 幸 氏 退任（退職） ・第12代消防団長 二 見 浩 一 氏 退任
4月	・第18代消防長 貝 瀬 功 氏 就任（前警防課長） ・第13代消防団長 高 橋 則 吉 氏 就任（前副団長兼第3中隊長） ・第47回全国消防長会関東支部意見発表会において、職員1名が優良賞を受賞
7月	・第55回県消防操法大会出場 第2分団（宮上）が最優秀賞（優勝）を受賞、第30回全国消防操法大会に神奈川県代表として選出される。

2 管内情勢

位置・面積／人口・世帯数／所在地	15
町勢及び消防吏員／地区別人口・世帯数	16
消防配置図	17

位 置・面 積

令和6年4月1日現在

区 分 管内別	位 置		面積	広 ば う (km) (広 が り)	
	東 経	北 緯	km ²	東西	南北
湯河原町	139° 6′ 31″	35° 8′ 51″	40.97	10.1	6.8
真 鶴 町	139° 8′ 13″	35° 9′ 30″	7.05	1.0	7.0

(位置は、両町とも町役場を示す。)

人 口・世 帯 数

令和6年4月1日現在

区 分 管内別	人 口 (人)			世 帯 数 (世 帯)
	総 数	男	女	
湯河原町	23,292	10,953	12,339	12,831
真 鶴 町	6,637	3,099	3,538	3,381
計	29,929	14,052	15,877	16,212

(両町とも、住民基本台帳による。)

所 在 地

令和6年4月1日現在

区 分			所 在 地	電 話 番 号 ファックス番号
本部署別				
湯河原町消防本部			〒259-0303 神奈川県足柄下郡 湯河原町土肥一丁目5番地の2 2	TEL 0465-60-0119 FAX 0465-63-7666
湯河原町消防署	本 署			
	分	奥湯河原 分 署	〒259-0314 神奈川県足柄下郡 湯河原町宮上7 7 5番地の2 7	TEL 0465-63-2855 FAX 0465-63-2855
		真鶴分署	〒259-0201 神奈川県足柄下郡 真 鶴 町 真 鶴 5 1 5 番 地 1	TEL 0465-68-3661 FAX 0465-68-3661

町 勢 及 び 消 防 吏 員

年 別	管内別	面 積 (km ²)	人 口 (人)	世帯数	1世帯 当りの 人員	1 km ² 当りの		消 防 吏 員 数	消 防 吏 員 1 人 当 り の		
						人 口 (人)	世帯数		面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数
令和 2年 (2020)	湯河原町	40.97	24,637	12,776	1.93	601	312	79	0.61	403	205
	真 鶴 町	7.05	7,161	3,438	2.08	1,016	488				
令和 3年 (2021)	湯河原町	40.97	24,362	12,864	1.89	595	314	79	0.61	398	206
	真 鶴 町	7.05	7,074	3,447	2.05	1,003	489				
令和 4年 (2022)	湯河原町	40.97	24,030	12,842	1.87	587	313	79	0.61	392	206
	真 鶴 町	7.05	6,931	3,428	2.02	983	486				
令和 5年 (2023)	湯河原町	40.97	23,759	12,920	1.84	580	315	79	0.61	387	207
	真 鶴 町	7.05	6,805	3,416	1.99	965	485				
令和 6年 (2024)	湯河原町	40.97	23,292	12,831	1.82	569	313	80	0.60	374	203
	真 鶴 町	7.05	6,637	3,381	1.96	941	480				

※ 各年とも4月1日現在

地 域 別 人 口 ・ 世 帯 数

令和6年4月1日現在

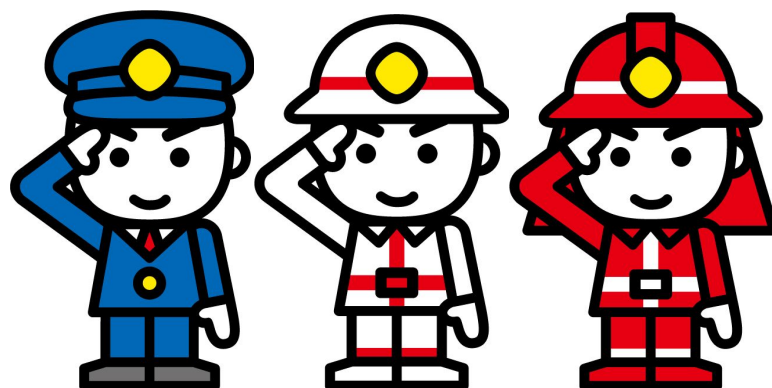
区 分 地 区 別		人 口			世 帯 数
		計	男	女	
湯 河 原 町	奥 湯 河 原	143	73	70	107
	温 泉 場	1,344	609	735	860
	宮 上	1,486	689	797	850
	宮 下	3,816	1,751	2,065	2,223
	城 堀	2,089	1,005	1,084	1,220
	門 川	1,894	899	995	1,047
	鍛 冶 屋	4,028	1,935	2,093	2,072
	中 央	2,598	1,224	1,374	1,381
	吉 浜	3,431	1,587	1,844	1,825
	川 堀	1,657	810	847	808
	福 浦	806	371	435	438
	小 計	23,292	10,953	12,339	12,831
真 鶴 町	真 鶴	4,365	2,026	2,339	2,234
	岩	2,272	1,073	1,199	1,147
	小 計	6,637	3,099	3,538	3,381
合 計		29,929	14,052	15,877	16,212

※ 両町とも、住民基本台帳（外国人を含む）による。



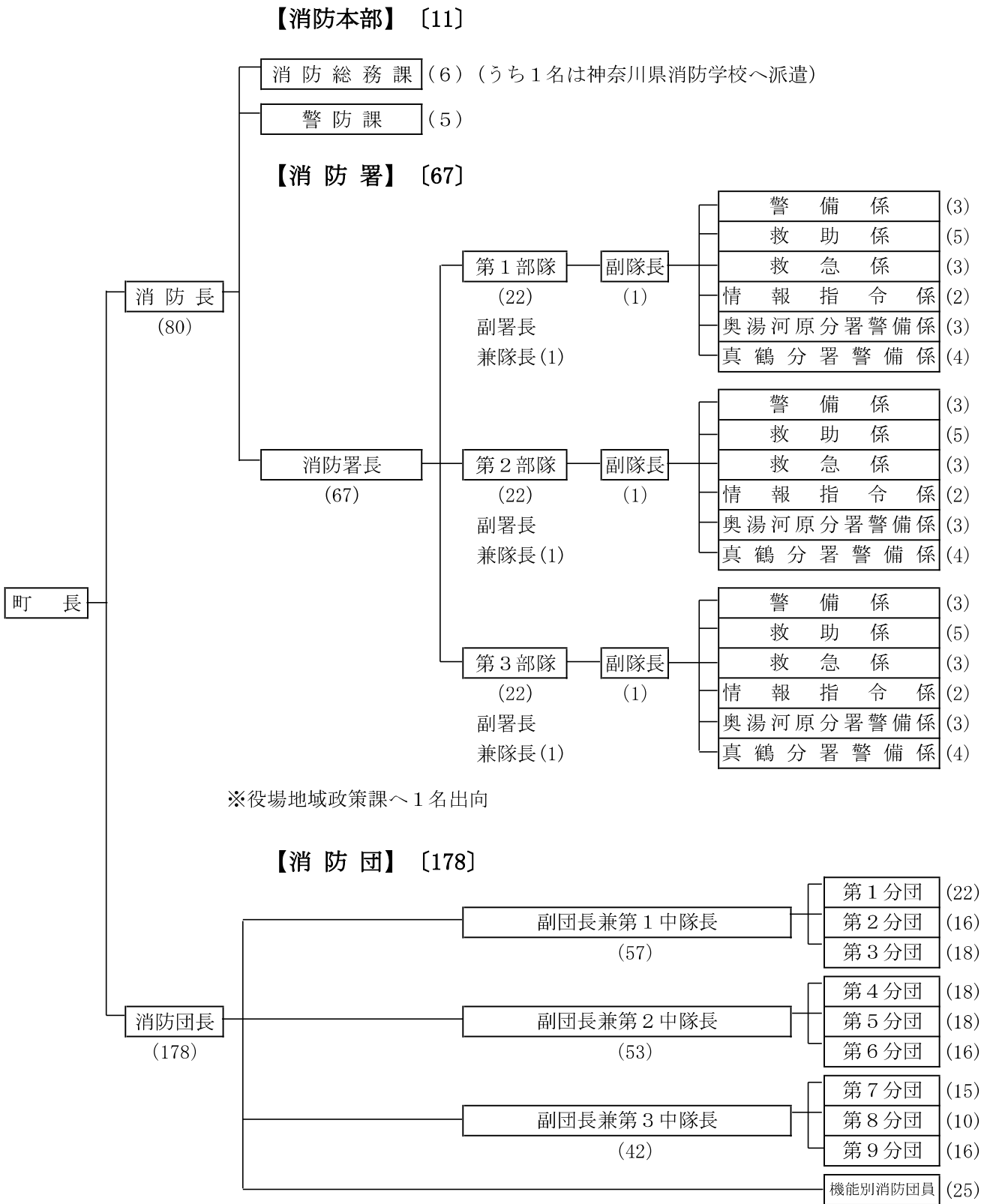
3 組 織 ・ 職 員

消防の組織	18
消防本部・消防署事務分掌	19
消防力の整備指針と現有（人員）／消防職員配置状況	21
消防職員の年齢・勤続年数・居住地状況	22
特殊技能資格取得状況	23



消 防 の 組 織

令和6年4月1日現在



※機能別消防団員：H30・4・1発足、退団した正副分団長が再入団

消防本部・消防署事務分掌

消 防 本 部

消 防 総 務 課（総務係・消防団係）

- (1) 消防事務事業の企画及び調整に関すること。
- (2) 消防関係例規等の制定及び改廃に関すること。
- (3) 消防事務の受託に関すること。
- (4) 消防長会に関すること。
- (5) 消防団業務の企画及び調整に関すること。
- (6) 消防団員の任命、服務及び身分に関すること。
- (7) 消防団員の研修に関すること。
- (8) 消防団員の公務災害補償及び賞じゅつに関すること。
- (9) ほう賞、表彰及び式典に関すること。
- (10) 消防協会に関すること。
- (11) 各種統計、消防年報に関すること。
- (12) 予算の経理及び物品の出納に関すること。
- (13) 文書の収受及び発送に関すること。
- (14) 消防施設及び財産の管理に関すること。
- (15) 公印の管理に関すること。
- (16) 消防職員の任免、服務及び身分に関すること。
- (17) 消防職員の研修及び教養に関すること。
- (18) 消防職員の福利厚生及び衛生管理に関すること。
- (19) 消防職員委員会に関すること。
- (20) 庶務に関すること。

警 防 課（警防救急係・予防係）

- (1) 災害対策及び消防特別警戒警備に関すること。
- (2) 消防水利の整備及び管理に関すること。
- (3) 火災の原因、損害の調査及びり災証明に関すること。
- (4) 救急講習会、応急手当の普及指導に関すること。
- (5) 開発行為に係る消防上の指導に関すること。
- (6) 消防応援協定に関すること。
- (7) 防災計画に基づく消防計画の策定及び消防総合訓練計画に関すること。
- (8) 火災予防の企画、普及並びに防火相談に関すること。
- (9) 防火管理者、危険物取扱者及び保安監督者の指導並びに講習に関すること。
- (10) 火災予防条例の規制、指導及び届出検査に関すること。
- (11) 防火対象物及び危険物施設の予防査察に関すること。
- (12) 建築確認の同意に関すること。
- (13) 防火対象物に係る消防計画並びに危険物施設に係る予防規程の審査及び指導に関すること。

- (14) 消防用設備等に関する事。
- (15) 液化石油ガス、高圧ガスの保安指導に関する事。
- (16) 消防対象物及び屋外における火災予防措置に関する事。
- (17) 危険物、指定可燃物等の規制及び指導に関する事。
- (18) 表示公表制度に関する事。
- (19) 防火団体にに関する事。
- (20) 所管の調査統計及び課内の庶務に関する事。

消 防 署

警 備 係

- (1) 消防活動に関する事。
- (2) 救急活動に関する事。
- (3) 警防調査、計画に関する事。
- (4) 車両、資機材の保全運用に関する事。
- (5) 防火対象物の立入検査に関する事。
- (6) 消防訓練の指導に関する事。
- (7) その他当直業務に関する事。

救 助 係

- (1) 救助活動に関する事。
- (2) 消防技能に関する事。
- (3) 署内の庶務及び管理に関する事。
- (4) その他当直業務に関する事。

救 急 係

- (1) 救急活動に関する事。
- (2) 救急技能に関する事。
- (3) 救急業務に関する事。
- (4) 救急調査に関する事。

情 報 指 令 係

- (1) 消防無線に関する事。
- (2) 消防指令及び通信業務に関する事。
- (3) 消防通信施設に関する事。
- (4) 災害広報に関する事。
- (5) 気象観測に関する事。
- (6) 消防庁舎の警備に関する事。

消防力の整備指針と現有（人員）

令和6年4月1日現在

区 分 比	消防 隊員	救急 隊員	救助 隊員	指揮 隊員	予防 要員	通信員	庶務の 処理等 の人員	計	充足率 (%)
基準人員（人）	65				14	6	10	95	84.2%
現有人員（人）	60				2	6	12	80	
過不足数（人）	△ 5				△ 12	0	2	△ 15	

※基準人員数については令和4年度消防施設整備計画実態調査を基に算出

消 防 職 員 配 置 状 況

令和6年4月1日現在

階 級 別 区 分		計	消 防 吏 員						事 務 吏 員
			消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
定 員		81							
実 員		78	1	13	19	14	21	10	
消 防 本 部	消 防 長	1	1						
	消 防 課 長	1		1					
	副 課 長	0							
	係 長	2			2				
	主 査	0							
	主 任	1				1			
	課 員	1					1		
	警 課 長	1		1					
	副 課 長	1		1					
	係 長	1			1				
	主 査	1			1				
	主 任	1				1			
	課 員	0							
	小 計	11	1	3	4	2	1	0	
	署 長	1		1					
	副署長(隊長兼務)	3		3					
	副 隊 長	3		3					
	主幹兼係長	3		3					
	主 幹	0							
消 防 署	係 長	15			15				
	主 査	0							
	主 任	12				12			
	隊 員	30					20	10	
	小 計	67	0	10	15	12	20	10	
	町役場出向者	1				1			
	県消防学校派遣教官	1			1				

消防職員の年齢・勤続年数・居住地状況

令和6年4月1日現在

階 級 別 区 分			計		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
			人員 (人)	比率 (%)							
実 員	(上段 人員)		80	-	1	13	20	15	21	10	
	(下段割合%)		-	100.0	1.3	16.3	25.0	18.8	26.3	12.5	
年 齢	18歳以上～20歳未満		2	2.50						2	
	20歳～25歳未満		15	18.75					7	8	
	25歳～30歳未満		19	23.75				6	13		
	30歳～35歳未満		11	13.75			2	8	1		
	35歳～40歳未満		9	11.3			9				
	40歳～45歳未満		5	6.3		1	4				
	45歳～50歳未満		8	10.0		4	3	1			
	50歳～55歳未満		6	7.5		4	2				
	55 歳 以 上		5	6.3	1	4					
	平均年齢(歳)		34.4	-	58.0	51.8	39.9	31.4	26.0	20.9	
勤 続 年 数	1 年 未 満		3	3.8						3	
	1 年～5 年未満		22	27.5					15	7	
	5 年～10年未満		13	16.3				7	6		
	10年～15年未満		16	20.0			9	7			
	15年～20年未満		6	7.5			6				
	20年～25年未満		4	5.0		2	2				
	25年～30年未満		2	2.5		1	1				
	30 年 以 上		14	17.5	1	10	2	1			
	平均勤続年数(年)		13.2	-	40.0	31.0	17.9	10.5	4.0	1.1	
居 住 地	管 内	湯 河 原 町	宮 上	7	8.8		1	2	2	2	
			宮 下	4	5.0	1	1		1	1	
			土 肥	11	13.8		1	3	2	3	2
			門 川	0	0.0						
			城 堀	1	1.3				1		
			鍛冶屋	1	1.3					1	
			中 央	15	18.8		3	3	4	3	2
			吉 浜	8	10.0		2	5			1
			福 浦	3	3.8					2	1
			小 計	50	62.5	1	8	13	10	12	6
		真 鶴 町	真 鶴	2	2.5			1	1		
			岩	1	1.3		1				
			小 計	3	3.8	0	1	1	1	0	0
		管内(両町)計		53	66.3	1	9	14	11	12	6
	管 外	小 田 原 市		15	18.8		1	5	3	4	2
		熱 海 市		2	2.5		2				
		そ の 他		10	12.5		1	1	1	5	2
		管 外 計		27	33.8	0	4	6	4	9	4

特殊技能資格取得状況

令和6年4月1日現在

階級別・所属別 免許・免状・資格			計								所 属 別			
				消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	本 部	本 署	分 署	真 鶴
													奥湯河原	
実 員			80	1	13	20	15	21	10		14	46	8	12
自動車関係	運転免許	大型	37	1	12	14	5	5	0		10	19	3	5
		大型特殊	1	0	0	0	0	1	0		0	0	0	1
		中型	7	0	0	1	4	2	0		3	3	0	1
		準中型	5	0	0	0	2	2	1		0	2	3	0
		普通（中型8t限定）	6	0	1	5	0	0	0		1	4	0	1
		普通（準中型5t限定）	12	0	0	0	4	8	0		0	7	2	3
		普通（平成29年3月12日以降）	17	0	0	0	1	8	8		1	12	2	2
		自動二輪（大型）	13	1	6	3	1	1	1		5	6	1	1
		自動二輪（普通）	26	0	4	8	5	7	2		6	12	3	5
	関係	クレーン・移動式クレーン	22	1	8	10	2	1	0		7	12	2	1
		玉 掛 け	21	0	9	9	1	2	0		3	14	3	1
		巻 上 機	8	0	3	3	1	1	0		2	6	0	0
		車輛系建設機械	3	0	0	2	0	1	0		0	3	0	0
		消防・救急緊急自動車運転技能	1	0	1	0	0	0	0		0	1	0	0
		自動車整備士（2級・3級）	2	0	1	1	0	0	0		0	1	1	0
危険物免取状	乙 種 第 3 類		6	0	1	4	1	0	0		3	3	0	0
	乙 種 第 4 類		63	1	12	19	15	15	1		14	30	8	11
	乙 種 第 5 類		4	0	1	1	2	0	0		2	1	0	1
	丙 種		2	1	1	0	0	0	0		1	1	0	0
船舶関係	1 級 小 型 船 舶 操 縦 士		3	0	3	0	0	0	0		1	2	0	0
	2 級 小 型 船 舶 操 縦 士		20	0	5	7	3	5	0		4	12	3	1
	潜 水 士		40	0	10	15	9	6	0		10	22	4	4
救急関係	救 急 救 命 士		20	0	3	4	4	7	2		2	10	3	5
	救急隊員資格（標準課程250時間）		41	0	2	14	10	13	2		9	21	6	5
	救急隊員資格（Ⅱ課程・115時間）		12	1	8	2	1	0	0		3	7	0	2
	応 急 手 当 指 導 員		60	1	13	20	13	12	1		14	31	7	8
	A E D 講 習 修 了 者		21	1	13	6	1	0	0		6	10	1	4
	湘 南 MC 外 傷 セ ミ ナ ー		22	0	6	8	4	3	1		5	11	3	3
	湘南MC外傷技術指導員セミナー		17	0	7	9	0	1	0		6	6	3	2
	湘 南 MC 心 肺 蘇 生 セ ミ ナ ー		28	0	5	12	8	3	0		6	15	4	3
	湘南MC心肺蘇生指導員セミナー		14	0	4	8	2	0	0		2	9	1	2
予防関係	湘 南 MC 指 導 救 命 士		3	0	2	1	0	0	0		0	1	0	2
	予防技術資格者（防火査察）		6	1	3	1	1	0	0		4	2	0	0
	予防技術資格者（消防設備等）		5	1	2	2	0	0	0		4	1	0	0
無線関係	予防技術資格者（危険物）		5	1	2	1	1	0	0		4	1	0	0
	第 2 級 陸 上 特殊無線技士		59	1	4	18	15	19	2		10	32	8	9
その他	第 3 級 陸 上 特殊無線技士		11	0	9	2	0	0	0		4	4	0	3
	ドローン関係		7	0	1	4	1	1	0		0	5	1	1
その他	ロープ高所作業特別教育		6	0	1	3	1	1	0		0	5	1	0
	フルハーネス特別教育		8	0	1	3	1	3	0		0	5	3	0
	安 全 衛 生 管 理 者		0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
	安 全 衛 生 推 進 者		1	0	0	1	0	0	0		0	1	0	0
	可 搬 ポ ン プ 等 整備資格者		0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
	特定科学物質等作業主任者		3	0	0	3	0	0	0		1	2	0	0

※出向者については、所属を本部で計上

4 予 算

消防費の比較／消防予算科目別状況	24
------------------------	----



消 防 費 の 比 較

(単位：千円)

年 度 別	当 初 予 算 額		
	一 般 会 計 (A)	消 防 費 (B)	比 率 (B/A)
令 和 2 年 度	10,035,000	720,971 ※(514,682)	7.2% ※(5.1%)
令 和 3 年 度	8,790,000	799,302 ※(581,867)	9.1% ※(6.6%)
令 和 4 年 度	9,070,000	702,349 ※(517,456)	7.7% ※(5.7%)
令 和 5 年 度	9,740,000	724,514 ※(536,754)	7.4% ※(5.5%)
令 和 6 年 度	9,756,000	746,506 ※(564,744)	7.7% ※(5.8%)

※消防費から消防費負担金(消防事務受託費真鶴町負担金及び救急事務受託費熱海市負担金)を除いた額及び比率を示す。

・令和6年度消防費に係る消防事務受託費の内訳

消防事務受託費真鶴町負担金	164,894千円	22.1%
救急事務受託費熱海市負担金	16,868千円	2.3%
受 託 費 小 計	181,762千円	24.4%
消防費負担金を除く消防費	※564,744千円	75.6%
消 防 費 合 計	746,506千円	100.0%

消 防 予 算 科 目 別 状 況 (令和6年度当初)

(単位：千円)

	区 分	予 算 額	比 率
科 目 別	常 備 消 防 費	489,182	65.5%
	非 常 備 消 防 費	58,147	7.8%
	消 防 施 設 費	51,053	6.8%
	真 鶴 分 署 費	84,114	11.3%
	防 災 費	64,010	8.6%
性 質 別	人 件 費	601,309	80.6%
	物 件 費	90,576	12.1%
	普 通 建 設 事 業 費	25,394	3.4%
	そ の 他	29,227	3.9%

5 施設・機械

消防力の整備指針と現有（署所）／消防庁舎配置状況（常備）	
／消防力の整備指針と現有（車両）	25
消防車両一覧表	26
消防力の整備指針と現有（水利）／管区別水利配置状況	28



消防力の整備指針と現有（署所）

区 分 比 較	消 防 本 部	消 防 署	分 署	充 足 率 (%)
基 準	1	1	2	100
現 有	1	1	2	

消防庁舎配置状況（常備）

区 分 名 称	所 在 地	構 造	面 積 (㎡)	建 築 年 月
消 防 本 部 (署)	湯河原町土肥 一丁目5番地の22	鉄筋コンクリート 3階建	1,034	昭和52年 3月
奥湯河原分署	湯河原町宮上 775番地の27	鉄筋コンクリート 2階建	176 区民会館 と併設	昭和53年 3月
真 鶴 分 署	真鶴町真鶴 515番地1	鉄骨2階建	307 消防団詰所 と併設	昭和58年 3月

消防力の整備指針と現有（車両）

区 分 比 較	はしご車	化学車	消防ポンプ車		救急車	救助工作車
			水 槽 付	普通消防車		
基 準 (台)	1	0	5		3	1
現 有 (台)	1	0	0	5	3	0
充足率 (%)	100	0	100		100	△100

消 防 車 両 一 覧 表

令和6年4月1日現在

区 分	車 両 名	車 名 ・ 型 式	登 録 番 号	排気量 (ℓ)	級 別	配 備 年 月
消 防 本 部	指 揮 1 号 車	日産 キャラバン 3 D - C N 8 E 2 6	湘南800 せ54-84	2.43	—	R5.12
	指 揮 2 号 車	マツダ ボンゴ A B F - S K 8 2 M	湘南800 す45-91	1.78	—	H20.3
	消 火 ・ 通 報 訓 練 指 導 車 (け す ゾ ウ く ん)	マツダ タイタン T C - S Y E 4 T	湘南100 さ85-79	1.99	—	H16.8
	指 令 1 号 車	トヨタ ヴェルファイア 3 B A - A G H 3 5	湘南830 つ1-19	2.49	—	R2.10
	連 絡 車 (軽 ト ラ ッ ク)	ダイハツ ハイゼット G M - S 2 0 0 P	湘南483 さ 1-19	0.65	—	H23.4
消 防 署	湯 河 原 1 号 車 (CD-I型消防ポンプ自動車)	日 野 デュトロ T K G - X Z U 6 8 5 M	湘南800せ 948	4.0	A-2	H29.11
	湯 河 原 2 号 車 (CD-I型消防ポンプ自動車)	日 野 デュトロ 2 K G - X Z U 6 8 5 M	湘南800 せ30-32	4.0	A-2	R2.11
	湯 河 原 は し ご 1 号 車 (20m級屈折はしご付消防自動車)	日 野 レンジャー B D G - F E 8 J J W A 改	湘南830 さ84-51	7.68	—	H21.12
	湯 河 原 特 殊 1 号 車 (災害対応特殊消防ポンプ自動車)	日 野 レンジャー S D G - G X 7 J G A A 改	湘南831 そ1-19	6.4	A-2	H24.12
	湯 河 原 搬 送 1 号 車 (資 機 材 搬 送 車)	いすゞ エルフ 2 P G - N P S 8 8 A R	湘南800 せ47-67	2.99	—	R5.2
	湯 河 原 機 動 1 (消 防 用 軽 自 動 二 輪 車)	ヤマハ セロー B A - D G 0 8 J	1 湘南 か 12	0.22	—	H15.12
	湯 河 原 機 動 2 (消 防 用 軽 自 動 二 輪 車)	ヤマハ セロー B A - D G 0 8 J	1 湘南 か 13	0.22	—	H15.12
	湯 河 原 救 急 1 号 車 (高 規 格 救 急 自 動 車)	トヨタ ハイメディック 3 B F - T R H 2 2 6 S	湘南800 せ45-18	2.69	—	R4.10
	湯 河 原 救 急 5 号 車 (予 備 救 急 自 動 車)	トヨタ ハイメディック C B F - T R H 2 2 6 S	湘南800 せ24-41	2.69	—	R1.12
	サ ポ ー ト 搬 送 車 (救 急 用 自 動 車)	トヨタ ハイエース L D F - K D H 2 0 6 K	湘南800 せ10-98	2.98	—	H30.1
分奥 湯 河 署原	奥 湯 河 原 1 号 車 (CD-I型消防ポンプ自動車)	日 野 デュトロ T K G - X Z U 6 8 5 M	湘南831 た119	4.0	A-2	H25.11
	湯 河 原 救 急 2 号 車 (高 規 格 救 急 自 動 車)	トヨタ ハイメディック C B F - T R H 2 2 6 S	湘南800 す95-91	2.69	—	H27.11
真 鶴 分 署	真 鶴 1 号 車 (CD-I型消防ポンプ自動車)	日 野 デュトロ 2 K G - X Z U 6 8 5 M	湘南800 せ30-33	4.0	A-2	R2.11
	湯 河 原 救 急 3 号 車 (高 規 格 救 急 自 動 車)	日産 パラメディック C B F - C S 8 E 2 6 改	湘南800 せ17-48	2.48	—	H30.12
	湯 河 原 機 動 3 (消 防 用 軽 自 動 二 輪 車)	ヤマハ セロー B A - D G 0 8 J	1 湘南 か 14	0.22	—	H15.12

積 載 無 線	主 な 積 載 品	備 考
ゆがわら指揮 1	照明用資機材・移動式指揮台・サーモグラフィーカメラ・現場広報装置・ガス検知器・マイクロスコープ・携帯無線・携帯電話・原因調査用資機材一式・消火器・緊急通信用可搬式アンテナ	
ゆがわら指揮 2	消火器	平成20年 (財)日本消防協会交付
		平成16年 (財)日本宝くじ協会交付
ゆがわら指令 1	消火器	
ゆ が わ ら 1	ロープ類・ホース・空気呼吸器・ガンタイプノズル・信号器付投光器・携帯用発電機・ガス検知器・エンジンカッター・チェーンソー・電動ホースレイヤー・チタン製三連梯子・赤外線サーマルカメラ	平成29年度 県補助
ゆ が わ ら 2	ロープ類・ホース・空気呼吸器・ガンタイプノズル・圧縮空気泡消火装置用ノズル・自立式LED投光器・エンジンカッター・チェーンソー・圧縮空気泡消火装置薬剤・ホースカー（アシスト機能）・チタン製二連梯子	令和2年度 県補助
ゆがわら梯子 1	ロープ類・ホース・空気呼吸器・1000型泡ノズル・フォグガン・プロジェクトガン・放水銃・信号器付投光器・携帯用発電機・チェーンソー・緩降機・救助用バクタイ・サーバイバースリング・耐電資器材一式・トビロ・カギ付梯子・消火器	平成20年度 国・県補助
ゆがわら特殊 1	特殊1号車装備品に記載(P53)	平成24年度 国補助
ゆがわら搬送 1	後部パワーゲート・潜水用資器材一式	令和4年度 県補助
	応急処置セット・消火器	平成15年 (財)日本消防協会交付
ゆがわら救急 1	救急車積載品に記載(P49)	令和4年度 新型コロナウイルス交付金
ゆがわら救急 5	救急車積載品に記載(P49)	
ゆがわらまたさぼ 1	分娩セット・自動体外式除細動器(AED)・観察器材・呼吸循環等管理器材	平成29年度 県補助
奥 湯 河 原 1	ロープ類・ホース・空気呼吸器・ガンタイプノズル・フォグガン・投光器・携帯用発電機・スコープ・パール・トビロ・電動ホースレイヤー・ステンレス製二連梯子・消火器・大型アルミボックス	
ゆがわら救急 2	救急車積載品に記載(P49)	平成27年度 国・県補助
真 鶴 1	ロープ類・ホース・空気呼吸器・ガンタイプノズル・圧縮空気泡消火装置用ノズル・自立式LED投光器・エンジンカッター・チェーンソー・圧縮空気泡消火装置薬剤・ホースカー（アシスト機能）・チタン製二連梯子	令和2年度 国・県補助
ゆがわら救急 3	救急車積載品に記載(P49)	平成30年度 県補助
	応急処置セット・広報用ハンドマイク・消火器	平成15年 (財)日本消防協会交付

消防力の整備指針と現有（水利）

令和6年4月1日現在

区 分 比 較	消 火 栓	防 火 水 槽	その他の水利	計	充 足 率
基 準	338			338	79.9%
現 有	146	121	3	270	
不 足 数	68			68	

管 区 別 水 利 配 置 状 況

令和6年4月1日現在

管 区 区		第一管区	第二管区	第三管区	第四管区	第五管区	第六管区	第七管区	第八管区	第九管区	合 計
消 火 栓	100mm	3	7	10	3	1	9	7	8	1	49
	125mm					1					1
	150mm	5	9	10		1	13	15	2	1	56
	200mm	17	1			2	9		2		31
	250mm	2					1		1		4
	300mm						5				5
	小 計	27	17	20	3	5	37	22	13	2	146
防 火 水 槽	40未満								1	1	2
	40～100	13	11	16	8	11	20	19	12	6	116
	100以上	1						1		1	3
	小 計	14	11	16	8	11	20	20	13	8	121
その他の水利						1		1		1	3
合 計		41	28	36	11	17	57	43	26	11	270

6 予 防

裏面 全国統一危険物安全推進標語

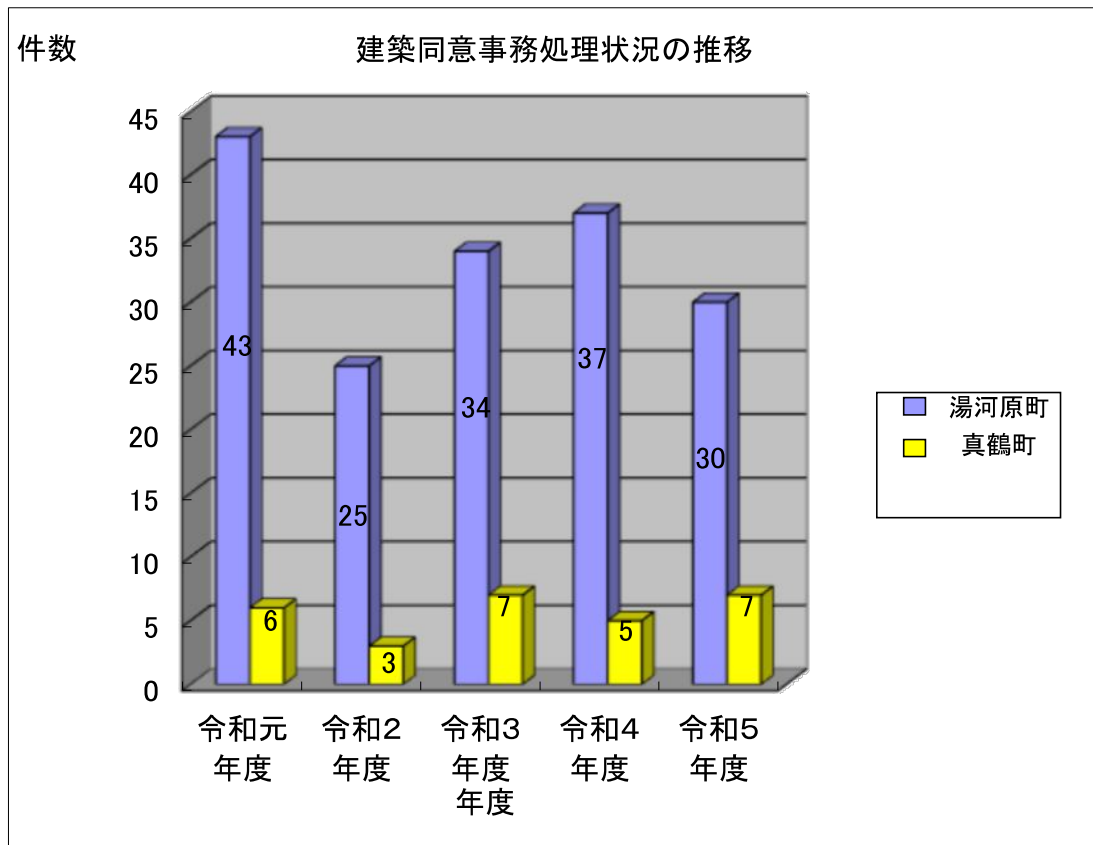
建築同意事務処理状況の推移	29
防火対象物と防火管理者選任状況	30
建築同意・予防査察・消防用設備等設置届出検査等	32
中高層建築物・防災管理者、自衛消防組織届出対象物状況	34
予防関係の申請・届出状況	35
危険物製造所等貯蔵量別施設数	36
危険物各種申請・届出状況	37
防火団体・外郭団体	38



全国統一危険物安全推進標語

- ・平成 2 年度 “まさか”より“もしも”で守ろう 危険物
- ・平成 3 年度 危険物 いつも本番 待ったなし
- ・平成 4 年度 心・技・知・危険物には真剣勝負
- ・平成 5 年度 危険物 そのときその場が 正念場
- ・平成 6 年度 一瞬の すきも許さぬ 危険物
- ・平成 7 年度 確実な 好手が決め手の 危険物
- ・平成 8 年度 危険物 向きあう心 いざ集中
- ・平成 9 年度 気を抜くな 扱う相手は 危険物
- ・平成 10 年度 安全は 日々の気持ちの 積み重ね
- ・平成 11 年度 危険物 入って先読む 確かな点検
- ・平成 12 年度 危険物 守りのかなめは 危険物
- ・平成 13 年度 危険物 めざすゴールは 無災害
- ・平成 14 年度 危険物 小さな油断も イエローカード
- ・平成 15 年度 危険物 無事故の主役は あなたです
- ・平成 16 年度 危険物 ゆるむ心の 帯しめて
- ・平成 17 年度 危険物 かさねる無事故の 金メダル
- ・平成 18 年度 自主点検 欠かさぬあなたに グランプリ
- ・平成 19 年度 危険物 目指せ無事故の MVP
- ・平成 20 年度 安全へ 確かなスマッシュ 保守点検
- ・平成 21 年度 安全は 意識と知識と 心掛け
- ・平成 22 年度 危険物 事故は瞬間 無事故は習慣
- ・平成 23 年度 危険物 無事故のゴールは 譲れない！
- ・平成 24 年度 危険物 めざせ完封 ゼロ災害
- ・平成 25 年度 あなたこそ 無事故を担う 司令塔
- ・平成 26 年度 危険物 読みはまっすぐ ゼロ災害
- ・平成 27 年度 無事故へと 気持ち集中 はっけよい
- ・平成 28 年度 危険物 決めろ無事故の ストライク
- ・平成 29 年度 あなたなら 無事故の着地 決められる！
- ・平成 30 年度 この一球 届け無事故へ みんなの願い
- ・令和元年度 無事故への 構え一分の 隙も無く
- ・令和 2 年度 訓練で 確かな信頼 積み重ね
- ・令和 3 年度 事故ゼロへ トライ重ねる ワンチーム
- ・令和 4 年度 一連の 確かな所作で 無災害
- ・令和 5 年度 意志つなぐ 連携プレーで 事故防ぐ
- ・令和 6 年度 次世代に つなごう無事故と 青い地球^{ほし}

建築同意事務処理状況の推移



防火対象物と防火管理者選任状況

防火対象物・項別			防火対象物数			消 防		
			管 内 別			設置を要する 防火対象物		
			湯 河 原 町	真 鶴 町	計	湯 河 原 町	真 鶴 町	計
合 計			1,259	289	1,548	1,131	239	1,370
1 項	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場						
	ロ	公会堂、集会場	9	5	14	9	5	14
2 項	イ	キャバレー、ナイトクラブ等						
	ロ	遊技場、ダンスホール	3		3	3		3
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗						
	ニ	カラオケボックス、ネットカフェ等						
3 項	イ	待合、料理店						
	ロ	飲 食 店	22	11	33	27	13	40
4 項			37	12	49	44	12	56
5 項	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	128	42	170	152	60	212
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	491	61	552	454	48	502
6 項	イ	(1) 避難のために患者の介助が必要な病院	3		3	3		3
		(2) 避難のために患者の介助が必要な有床診療所						
		(3) 上記(1)以外の病院、上記(2)以外の有床診療所・有床助産所						
		(4) 無床診療所・無床助産所	7		7	7		7
	ロ	(1) 老人福祉施設等	15	2	17	15	3	18
		(2) 救護施設						
		(3) 乳児院						
		(4) 障害児入所施設						
		(5) 障害者支援施設等						
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	5	1	6	6	1	7
		(2) 更生施設						
		(3) 助産施設、保育所等	7	2	9	7	2	9
		(4) 児童発達支援センター等						
		(5) 身体障害者福祉センター等						
	二	幼稚園、特別支援学校	2	1	3	2	1	3
7 項			4	4	8	4	4	8
8 項			4	1	5	4	1	5
9 項	イ	蒸気浴場、熱気浴場等						
	ロ	イ以外の公衆浴場	4		4	4		4
10 項			1	1	2	1	1	2
11 項			8	4	12	7	3	10
12 項	イ	工場、作業場	43	24	67	43	10	53
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ						
13 項	イ	自動車車庫、駐車場	4	1	5	4	1	5
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫						
14 項			27	6	33	23	6	29
15 項			59	29	88	56	29	85
16 項	イ	特定複合用途防火対象物	259	54	313	213	30	243
	ロ	非特定複合用途防火対象物	116	28	144	42	9	51
16の2 項								
16の3 項								
17 項			1		1	1		1
18 項								
延長50m以上のアーケード								

令和6年4月1日現在

用 設 備 等						防 火 管 理 者								
検査を要する 防火対象物			点検報告の 指定対象物			選任の必要な 対象物(A)			選任届出済 対象物(B)			選 任 率 (B)／(A) %		
湯 河 原 町	真 鶴 町	計	湯 河 原 町	真 鶴 町	計	湯 河 原 町	真 鶴 町	計	湯 河 原 町	真 鶴 町	計	湯 河 原 町	真 鶴 町	計
474	136	610	173	39	212	264	74	338	232	64	296	87.9	86.5	87.6
7	3	10	2		2	9	3	12	6	3	9	66.7	100.0	75.0
3		3	2		2	4		4	4		4	100.0	—	100.0
8	4	12	1		1	9	8	17	7	6	13	77.8	75.0	76.5
13	3	16	6	1	7	15	4	19	15	4	19	100.0	100.0	100.0
134	60	194	51	3	54	82	20	102	82	18	100	100.0	90.0	98.0
96	15	111	51	13	64	44	11	55	33	10	43	75.0	90.9	78.2
3		3	3		3	3		3	3		3	100.0	—	100.0
15	2	17	6	2	8	15	2	17	15	2	17	100.0	100.0	100.0
5		5	2		2	3		3	3		3	100.0	—	100.0
7	2	9	2		2	5	2	7	5	2	7	100.0	100.0	100.0
2	1	3	1	1	2	2	1	3	2	1	3	100.0	100.0	100.0
4	2	6	4	2	6	4	2	6	4	2	6	100.0	100.0	100.0
2	1	3	2		2	2	1	3	2	1	3	100.0	100.0	100.0
1		1	1		1	1		1	1		1	100.0	—	100.0
1	1	2				2	1	3	2		2	100.0	0.0	66.7
9	4	13	1		1	3		3	2		2	66.7	—	66.7
2	1	3	1		1									
4	1	5		1	1									
23	16	39	13	9	22	15	7	22	14	6	20	93.3	85.7	90.9
123	18	141	22	6	28	46	12	58	32	9	41	69.6	75.0	70.7
11	2	13	2	1	3									
1		1												

建築同意・予防査察・消防用設備等設置届出検査等

区 分 管 内 別 用 途 別			建 築 確 認 数			予 防 査 察 数			設置届出検	
			消 防 同 意 数			実 施 数				
			湯 河 原 町	真 鶴 町	計	湯 河 原 町	真 鶴 町	計	湯 河 原 町	真 鶴 町
合 計			30	7	37	81	12	93	55	19
1 項	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場							2	
	ロ	公会堂、集会場					2	2		
2 項	イ	キャバレー、ナイトクラブ等								
	ロ	遊技場、ダンスホール				1		1	2	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗								
	ニ	カラオケボックス、ネットカフェ等								
3 項	イ	待合、料理店								
	ロ	飲 食 店	1		1	6	1	7	4	
4 項			1		1	10	1	11	2	1
5 項	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	3	3	6	31	3	34	24	12
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	2		2				6	1
6 項	イ	(1) 避難のための患者の介助が必要な病院				2		2		
		(2) 避難のために患者の介助が必要な有床診療所								
		(3) 上記〔1〕以外の病院、上記〔2〕以外の有床診療所・有床助産所								
		(4) 無床診療所・無床助産所							1	
	ロ	(1) 老人福祉施設等				3		3		1
		(2) 救護施設								
		(3) 乳児院								
		(4) 障害時入所施設								
		(5) 障害者支援施設等								
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等				4		4		
		(2) 更生施設								
		(3) 助産施設、保育所等								
		(4) 児童発達支援センター等								
		(5) 身体障害者福祉センター等								
	ニ	幼稚園、特別支援学校							1	
7 項									4	
8 項							1	1		
9 項	イ	蒸気浴場、熱気浴場等								
	ロ	イ以外の公衆浴場								
10 項										1
11 項										
12 項	イ	工場、作業場		1	1				1	
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ								
13 項	イ	自動車車庫、駐車場				1		1		
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫								
14 項			6		6					
15 項						1		1	4	1
16 項	イ	特定複合用途防火対象物	1		1	3	2	5	4	2
	ロ	非特定複合用途防火対象物								
17 項										
20 項										
専 用 住 宅			12		12	1		1		
併 用 住 宅（一般住宅扱い）										
エレベーター、ダムウエーター、工作物、長屋			2	1	3					
海岸仮設建築物（海の家）			2	2	4	9		9		
危 険 物 施 設						9	2	11		

消 防 用 設 備 等							自 衛 消 防 訓 練					
査数	検査済証交付数			点検報告数			訓練計画届出数			消防立会数		
計	湯 河 原 町	真 鶴 町	計	湯 河 原 町	真 鶴 町	計	湯 河 原 町	真 鶴 町	計	湯 河 原 町	真 鶴 町	計
74	31	13	44	297	58	355	187	21	208	8	6	14
2								4	4			
	2		2	8	5	13						
2				2		2	2		2			
4	1		1	11	3	14	16		16			
3		1	1	24	3	27	18	1	19			
36	22	10	32	94	11	105	67		67	3		3
7	3		3	55	7	62	6	1	7		1	1
				5		5	10		10			
1				1		1						
1				14	4	18	32	4	36		1	1
							10		10			
				7	1	8	8	4	12	4		4
				9		9						
1				2	2	4	1	1	2			
4				1	1	2	2	2	4		2	2
					3	3						
				1		1						
1							1	1	2		1	1
							1		1			
1				2	1	3						
				1		1						
				1		1	3		3			
5	2	1	3	11	8	19	10	3	13			
6	1	1	2	43	9	52				1	1	2
				3		3						
				2		2						

中高層建築物・防災管理者、自衛消防組織届出対象物状況

令和6年4月1日現在

防火対象物区分			階層数	中 高 層 建 築 物 数 (棟 数)									防災管理者選任 自衛消防組織設置
			計	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階以上	届出対象物	
合 計			186	83	36	22	16	9	6	9	5	1	
1 項	イ	劇場、映画館等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ロ	公会堂、集会場	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
2 項	イ	キャバレー、ナイトクラブ等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ロ	遊技場、ダンスホール	1	0	0	1	0	0	0	0	0		
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ニ	カラオケボックス等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
3 項	イ	待合、料理店	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ロ	飲 食 店	2	2	0	0	0	0	0	0	0		
4 項	マーケット、物品販売店舗		0	0	0	0	0	0	0	0	0		
5 項	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	32	16	8	6	0	1	1	0	0		
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	85	23	16	8	14	7	5	8	4		
6 項	イ	(1) 避難のために患者の介助が必要な病院	2	1	0	1	0	0	0	0	0		
		(2) 避難のために患者の介助が必要な有床診療所	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		上記(1)以外の病院、上記(2)以外の有床診療所・有床助産所	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		(4) 無床診療所・無床助産所	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ロ	(1) 老人福祉施設等	5	4	1	0	0	0	0	0	0		
		(2) 救護施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		(3) 乳児院	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		(4) 障害児入所施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		(5) 障害者支援施設等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ハ	(1) 老人サービスセンター等	1	0	0	1	0	0	0	0	0		
		(2) 更生施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		(3) 助産施設、保育所等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		(4) 児童発達支援センター等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		(5) 身体障害者福祉センター等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ニ	幼稚園、特別支援学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
7 項	小・中学校、高等学校等		2	2	0	0	0	0	0	0	0		
8 項	図書館、博物館、美術館		0	0	0	0	0	0	0	0	0		
9 項	イ	蒸気・熱気浴場等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ロ	イ以外の公衆浴場	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
10 項	停車場、発着場		0	0	0	0	0	0	0	0	0		
11 項	神社、寺院、教会		0	0	0	0	0	0	0	0	0		
12 項	イ	工場、作業場	1	1	0	0	0	0	0	0	0		
	ロ	映画・テレビスタジオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
13 項	イ	自動車車庫、駐車場	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ロ	飛行機等の格納庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
14 項	倉 庫		1	1	0	0	0	0	0	0	0		
15 項	前各項該当外事業場		3	3	0	0	0	0	0	0	0		
16 項	イ	特定複合用途防火対象物	45	26	10	5	2	1	0	0	1	1	
	ロ	非特定複合用途防火対象物	6	4	1	0	0	0	0	1	0		

予防関係の申請・届出状況

令和5年度

項 目		湯河原町	真鶴町	計
消防設備	消防用設備等着工届	59	22	81
	消防用設備等設置届	55	19	74
	消防用設備等点検結果報告書	297	58	355
	消防用設備等特例申請届	1	0	1
防火管理	防火管理者選任（解任）届	60	18	78
	消防計画作成（変更）届	60	19	79
	自衛消防訓練実施計画書	187	21	208
	管理権原者変更届	2	0	2
防災管理	防災管理者選任（解任）届	1	0	1
	防災管理に係る消防計画作成（変更）届	0	0	0
	自衛消防組織の設置届	0	0	0
	防災管理点検報告	1	0	1
防火対象物	防火対象物使用開始届	38	14	52
	防火対象物名称（名義）変更届	20	3	23
	防火対象物廃止・休業・再開届	9	2	11
	防火対象物定期点検届	26	2	28
	防火対象物表示制度	4	0	4
	防火対象物特例認定申請届	0	0	0
危険物	少量危険物等取扱開始・変更・廃止届	2	5	7
	圧縮アセチレンガス・液化石油ガス貯蔵・廃止届	4	4	8
	危険物仮使用・仮貯蔵・仮取扱承認申請	0	0	0
	危険物施設設置・変更許可申請	0	0	0
	危険物取扱者・保安監督者選任（解任）届	2	0	2
	危険物資料提出届	4	0	4
	危険物品名・数量変更届	0	0	0
	危険物廃止・休止・再開届	1	0	1
	危険物譲渡・引渡・名称（名義）変更届	13	2	15
	危険物定期点検（漏洩機密試験）	4	1	5
	予防規程制定（変更）許可申請	0	0	0
	危険物在庫管理計画・漏洩措置届	0	0	0
火災予防条例	喫煙等禁止行為解除承認申請（花火等）	3	0	3
	条例44条関係（火気使用設備）	11	4	15
	条例44条関係（電気設備）	4	3	7
	条例44条関係（水素ガス設備）	0	0	0
	条例44条関係（ネオン管灯設備）	0	0	0
	条例45条関係（火煙発生届）	24	6	30
	条例45条関係（煙火消費届）	3	5	8
	条例45条関係（道路工事届）	30	10	40
	条例45条関係（水道工事届）	1	0	1
	条例45条関係（催物開催届）	37	20	57
	条例45条関係（露店等の開設届）	33	19	52
同意	建築同意申請	30	7	37
	建築確認通知（同意不要）	37	14	51
査察	火災予防査察	72	12	84
	海の家立入検査	9	0	9
	バス（舟車）立入検査	0	0	0
その他	消防法令適合通知書交付申請	1	1	2
	旅行関係者等からの照会	11	0	11
合 計		1,156	291	1,447

危険物製造所等貯蔵量別施設数

令和6年4月1日現在

製造所等 の 区 分	合 計	内 訳		貯 蔵 所												取 扱 所						
		湯 河 原 町	真 鶴 町	屋 内		屋 外		屋 内 タ ン ク		屋 外 タ ン ク		地 下 タ ン ク		移 動 タ ン ク		給 油		販 売		一 般		
				湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴	
指定数量 の倍数別																						
合 計	90	62	28	0	0	0	6	8	0	2	1	26	10	6	1	9	5	0	0	11	5	
5 倍 以下	52	32	20				6	6			1	15	8	5	1	1	1			5	3	
5 倍 を 超 え て 10 倍 以下	16	12	4					2				8	1	1		1	2				1	
10 倍 を 超 え て 50 倍 以下	15	12	3							2		3	1			1	1			6	1	
50 倍 を 超 え て 100倍 以下	1	1														1						
100 倍 を 超 え て 150倍 以下	2	1	1													1	1					
150 倍 を 超 え て 200倍 以下	1	1														1						
200 倍 を 超 えるもの	3	3														3						

危険物各種申請・届出状況

令和5年度

製造所等の別 申請・届出の別		合 計	内 訳		貯 蔵 所												取 扱 所						そ の 他	
			湯 河 原 町	真 鶴 町	屋		屋		屋 内 タ ン ク		屋 外 タ ン ク		地 下 タ ン ク		移 動 タ ン ク		給		販		一			
					内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	内	外		
					湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴		
合 計		27	24	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2	3	0	11	0	0	0	3	1	0	0
許可申請	設 置	0	0	0																				
	変 更	0	0	0																				
完成検査申 請	設 置	0	0	0																				
	変 更	0	0	0																				
仮使用承認申請		0	0	0																				
仮貯蔵・仮取扱承認申請		0	0	0																				
完 成 検 査 前 検 査 申 請		0	0	0																				
品名・数量・倍数 変 更 届		0	0	0																				
譲 渡 引 渡 届		1	1	0													1							
名義名称変更届		14	12	2									3	1	3		4				2	1		
保 安 監 督 者 選 任・解任届		1	1	0													1							
取 扱 責 任 者 選 解 任 届		1	1	0									1											
休 業・廃止届		1	1	0																	1			
予防規程(制定変更) 認 可 申 請		0	0	0																				
定期点検報告 (タンク及び配管)		5	4	1									3	1			1							
資料提出用 (軽微な変更 規制外の変更)		4	4	0													4							

防 火 団 体 ・ 外 郭 団 体

(敬称 略)

◎ 湯河原町防火安全対策協会 (令和6年5月17日現在)

設 立 昭和45年4月1日
 目 的 旅館、ホテル、保養所等の宿泊施設における防火安全対策の確立
 会員事業所数 74事業所(役員18名)
 会 長 室 伏 学(おんやど恵)
 副 会 長 石 川 泰 成(大滝ホテル)

◎ 湯河原・真鶴危険物安全協会 (令和6年5月24日現在)

設 立 昭和54年4月1日
 目 的 危険物の安全管理と危険物に起因する災害の防止
 会員事業所数 41事業所(役員17名)
 会 長 島 袋 伸 也(有限会社 島袋商店)
 副 会 長 脇 山 俊(株式会社 鈴木組)
 副 会 長 石 田 浩 二(株式会社 フォレスト)

◎ 湯河原町幼年消防クラブ (令和6年4月1日現在)

設 立 昭和59年7月2日
 目 的 幼年期を通じて防火のしつけと火災予防思想の普及推進
 クラブ員数 72名
 構 成 みやのうえ保育園(町立) おにわ保育園(町立)
 まさご保育園(町立) たちばな保育園(町立)
 福浦幼稚園(町立)

◎ 湯河原町女性防火クラブ (令和6年6月1日現在)

設 立 平成13年6月20日
 目 的 女性の防火・防災指導者を育成し、家庭及び地域の防火安全確保
 クラブ員数 27名(役員14名)
 会 長 渡 邊 みどり(川堀)
 副 会 長 芦 野 繁 子(温泉場)
 副 会 長 小 松 救 子(温泉場)

◎ 湯河原町消防協会 (令和6年6月30日現在)

設 立 昭和31年1月1日
 目 的 町民相互の協力により消防活動の支援、防火思想の高揚及び消防団員等の福祉増進に寄与
 会 員 数 22名(役員7名) 11区会の区長、副区長等で構成
 会 長 畑 敏 明(城堀区長)
 副 会 長 内 藤 良 浩(宮上区長)
 副 会 長 鈴 木 研 一(中央区長)

◎ 湯河原町少年少女消防クラブ (令和6年6月16日現在)

設 立 平成25年6月1日
 目 的 次世代を担う防火・防災リーダーの育成
 クラブ員数 19名
 構 成 湯河原町に在住又は在学の小学5年生から中学3年生までの児童・生徒
 クラブリーダー 浅 野 友 輝(中学3年生)
 サブリーダー 牧 野 桜 空(中学3年生) 竹 田 仁 恵(中学2年生)

7 火 災

火災状況	39
月別火災発生状況	40
覚知時間別火災状況	42
火災の推移	43
消防本部発足以来の主な火災	44



火災狀況

令和5年中

件数	月日	曜日	種別	出火場所	用途	焼損面積等	損害額 (千円)	出火原因	死傷者	気象通報等
	覚知時間									
1	1月11日	水	その他	真鶴町岩地内	その他 (生活用品)	生活用品	391	焚火		乾燥注意報
	16:02									火災気象通報
2	2月18日	土	建物	湯河原町土肥地内	店舗 (飲食)	収容物	50	その他 (無煙ロースター)		強風乾燥波浪注意報
	20:04									火災気象通報
3	4月26日	水	建物	真鶴町岩地内	住宅	55.63㎡	4,885	不明		雷強風波浪注意報
	16:10									火災気象通報
4	5月5日	金	その他	湯河原町吉浜地内	枯草	115.73㎡	0	焚火		強風注意報
	13:32									火災気象通報
5	10月8日	日	建物	湯河原町宮下地内	居住商業 兼用建築物 (住・店)	ぼや	125	ガスコンロ		乾燥注意報
	12:55									火災気象通報
6	11月3日	金	その他	湯河原町吉浜地内	その他 (農地)	立木	0	不明		
	14:01									
7	12月4日	月	建物	湯河原町宮上地内	倉庫	ぼや	0	その他 (火の粉)		乾燥注意報
	14:43									火災気象通報

※ 網掛け部分は、真鶴町の火災状況を示す。

月別火災発生状況

区 分		火災大別（件）							原因大別（件）								死傷者		建 物									
		合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	ス ト ー プ	焚 き 火	放 火 及 び 疑 い	た ば こ	コ ン ロ	電 気 等 の 配 線	不 明	そ の 他	死 者	負 傷 者	焼損棟数（棟）								合 計	全 損
																			火 元				類 焼					
																			全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や		
月 別	合 計	7	4	0	0	0	0	3	0	2	0	0	1	0	2	2	0	0	1	0	0	3	0	0	0	2	6	0
小 計	湯河原	5	3	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0
	真 鶴	2	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3	0	
1	湯河原	0																									0	
月	真 鶴	1						1		1																	0	
2	湯河原	1	1													1					1						1	
月	真 鶴	0																									0	
3	湯河原	0																									0	
月	真 鶴	0																									0	
4	湯河原	0																									0	
月	真 鶴	1	1												1				1						2	3		
5	湯河原	1						1		1																	0	
月	真 鶴	0																									0	
6	湯河原	0																									0	
月	真 鶴	0																									0	
7	湯河原	0																									0	
月	真 鶴	0																									0	
8	湯河原	0																									0	
月	真 鶴	0																									0	
9	湯河原	0																									0	
月	真 鶴	0																									0	
10	湯河原	1	1										1								1						1	
月	真 鶴	0																									0	
11	湯河原	1						1							1												0	
月	真 鶴	0																									0	
12	湯河原	1	1													1					1						1	
月	真 鶴	0																									0	

令和5年中

[illegible]

覚 知 時 間 別 火 災 状 況

令和5年中

覚知別 管内別 時間別	合 計		火 災 専 用 報 知 電 話		加 入 電 話		事 後 聞 知		駆 通 け 付 け 報		警 察 電 話		そ の 他	
	湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴	湯 河 原	真 鶴
合 計	5	2	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不 明														
0～1														
1～2														
2～3														
3～4														
4～5														
5～6														
6～7														
7～8														
8～9														
9～10														
10～11														
11～12														
12～13			1											
13～14			1											
14～15			1		1									
15～16														
16～17				2										
17～18														
18～19														
19～20														
20～21			1											
21～22														
22～23														
23～24														

火 災 の 推 移

令和元年～令和5年

区 分		年 別	令和元年 (平成31年) (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)
火 災 件 数 (件)		湯河原	4	11	10	4	5
		真 鶴	2	1	3	3	2
		合 計	6	12	13	7	7
損 害 額 (千円)		湯河原	4,675	3,029	37,226	599	175
		真 鶴		1	361	3,771	5,276
		合 計	4,675	3,030	37,587	4,370	5,451
建 物 火 災	件 数 (件)	湯河原	3	6	7	2	3
		真 鶴	2	1	1	1	1
	焼 損 床 面 積 (㎡)	湯河原	148.80	24.80	412.31	0.40	
		真 鶴			5.04	6.50	55.60
	一件当りの焼損床面積 (㎡)	湯河原	49.6	4.1	58.9	0.2	
		真 鶴			5.0	6.5	55.60
	損 害 額 (千円)	湯河原	4,654	2,629	37,226	49	175
		真 鶴		1	304	3,771	4,885
	一件当りの損害額 (千円)	湯河原	1,551	438	5,318	25	58.3
		真 鶴		1	304	3,771	4,885
林 野 火 災	件 数 (件)	湯河原					
		真 鶴					
	損 害 額 (千円)	湯河原					
		真 鶴					
車 両 火 災	件 数 (件)	湯河原	1	1		1	
		真 鶴			1		
	損 害 額 (千円)	湯河原	21	400		550	
		真 鶴			57		
そ の 他 火 災	件 数 (件)	湯河原		4	3	1	2
		真 鶴			1	2	1
	損 害 額 (千円)	湯河原					
		真 鶴					391
死 傷 者	死 者 (人)	湯河原					
		真 鶴					
	負 傷 者 (人)	湯河原	1			1	
		真 鶴					

消防本部発足以来の主な火災

(昭和43年4月～)

発生年月日	出火時分	発生場所等		全焼	半焼等	焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	死者	負傷者	出火原因
		場所	用途							
S43. 9. 13	2:28	宮下地内	旅館		2	600	8,010			不明
S44. 12. 12	2:30	宮下地内 (現土肥地内)	建設作業所・ 宿舍・事務所	5	1	963	29,000		5	たばこの投げ捨て
S45. 4. 24	23:45	宮上地内 (現土肥地内)	建設作業所	4	2	378	5,650		5	不明
S45. 7. 16	2:10	宮上地内	旅館	1		868	38,216		2	漏電
S46. 1. 17	12:53	宮上地内	植林地			258(a)	3,350			たき火の不始末
S46. 3. 20	13:20	吉浜地内	原野			1,650(a)	1,243			火入れの火粉の飛火
S46. 12. 8	7:45	吉浜地内	住宅	2	4	219	4,566			放火
S47. 6. 8	2:33	鍛冶屋地内	共同住宅		1	53	5,264	2	7	放火自殺 (LPガス爆発)
S47. 11. 13	17:48	土肥地内	共同住宅	1	1	237	4,271			LPG漏洩引火爆発
S48. 6. 6	10:10	土肥地内	住宅	1		84	2,800	1		放火
S49. 1. 6	16:40	福浦地内	住宅	1	1	53	1,517			線香 (落下し座布団に着火)
S49. 2. 12	18:20	宮上地内	住宅	1		71	5,056		2	マッチ (落下し可燃物に着火)
S49. 3. 6	0:17	福浦地内	新築中住宅	1		116	9,202		2	放火
S49. 3. 27	19:45	宮上地内	飲食店	1	2	458	55,546		1	石油ストーブ (取扱不注意)
S49. 8. 11	3:55	土肥地内	作業場	1		75	8,000		1	蚊取線香 (転倒着火)
S50. 6. 6	16:35	吉浜地内	倉庫	1		62	20,195			たばこの投げ捨て
S51. 5. 10	18:32	鍛冶屋地内	住宅	1		99	5,676		2	ガスこんろ消し忘れによる油の過熱引火
S51. 10. 2	10:30	真鶴町地内	住宅	1		118	3,783			ガスこんろ消し忘れによる油の過熱引火
S51. 10. 26	3:30	真鶴町真鶴地内	店舗併用住宅	1		191	5,023			風呂釜の空焚き
S52. 3. 4	8:55	真鶴町地内	住宅	1		172	1,698			たばこの不始末
S52. 3. 31	0:47	宮上地内	旅館		1	202	21,267	1	2	ガスレンジ取扱不良
S52. 10. 22	9:53	鍛冶屋地内	住宅	3	1	318	15,945	1	1	マッチ (火種が着衣に落下)
S55. 1. 4	8:37	真鶴町真鶴地内	店舗併用住宅		2	129	25,266	1	1	ガスこんろ (無炎着火)
S56. 7. 15	19:12	吉浜地内	店舗併用住宅	1		168	4,604		1	漏電
S58. 4. 2	20:45	宮上地内	住宅	3	1	311	12,592			たばこの消し忘れ
S58. 9. 1	21:25	宮上地内	店舗併用住宅	1		126	18,425	1		放火自殺
S59. 8. 21	3:52	宮上地内	保養所		1	187	22,037			電気関係
S63. 2. 5	9:55	吉浜地内	畑 (みかん) 林野	8	2	林野141 (ha) 建物423 [本町以外 林野60ha]	108,964 (227,000)		[6]	たき火の不始末
H 1. 6. 8	11:45	真鶴町真鶴地内	住宅	1		84	9,738			たばこの不始末
H 1. 12. 20	21:32	真鶴町真鶴地内	店舗併用住宅	1		90	11,781			ガスこんろ消し忘れによる油の過熱引火
H 2. 12. 2	1:40	宮上地内	住宅	2		247	16,788	1	1	不明
H 3. 6. 14	16:15	福浦地内	住宅	1		119	3,911	1	1	燃えさし (残火不始末)
H 4. 1. 8	7:15	真鶴町真鶴地内	石材加工所	1	1	156	6,102			不明
H 4. 4. 13	10:18	吉浜地内	住宅	1	1	125	7,578			たき火の不始末
H 4. 6. 28	13:50	宮下地内	住宅	1		82	16,008			たき火の不始末
H 4. 7. 27	20:40	土肥地内	店舗併用住宅		1	62	12,838			冷暖房機のコンデンサーの絶縁劣化
H 8. 4. 29	21:30	宮下地内	納屋	2	2	110	3,481		2	取灰の不始末
H 8. 10. 13	20:30	宮下地内	住宅	1	2	53	10,975		2	たばこの不始末
H 9. 7. 8	4:35	真鶴町真鶴地内	住宅 (金属彫刻品 作業場)	2	1	315	37,885		2	低圧動力回路用コンデンサーの絶縁劣化
H 9. 7. 19	16:24	真鶴町真鶴地内	住宅		2	39	9,083		2	たばこの不始末
H 9. 9. 27	23:54	吉浜地内	住宅兼寄宿舍	1		137	91,172		2	不明
H 9. 12. 22	7:54	真鶴町真鶴地内	住宅		2	43	7,002		2	ストーブ (可燃物落下)
H 9. 12. 30	8:22	真鶴町岩地内	乗用自動車			1台	5,235			排気管過熱
H 12. 2. 11	19:14	吉浜地内	住宅	1		154	20,943	1	2	電気ストーブからこたつ布団に接触
H 13. 1. 15	4:43	鍛冶屋地内	住宅	1		68	496	2		石油ストーブ使用中に異常燃焼
H 16. 2. 1	2:51	真鶴町岩地内	住宅	3	3	520	14,628			不明
H 16. 3. 5	23:05	真鶴町真鶴地内	住宅	2	2	85	2,815	1		石油ストーブ
H 17. 12. 5	23:05	湯河原パークウェイ	乗用車	1		全焼1台	800	2		不明
H 18. 7. 1	0:25	宮上地内	住宅	1		145	5,223	2		不明
H 19. 9. 27	22:15	宮上地内	住宅	1		72	6,919		1	放火
H 20. 1. 19	20:03	吉浜地内	倉庫	2	2	755	120,825			不明
H 24. 2. 9	3:11	門川地内	共同住宅		1	117	2,159	1		石油ストーブ
H 27. 4. 21	不明	宮下地内	住宅	1	1	52	588			放火 (殺人事件)
H 27. 9. 19	23:10	鍛冶屋地内	住宅	1	3	150	13,798	1		ガスこんろ取扱不良
H 27. 12. 15	14:00	吉浜地内	住宅	1		73	1,126	1		ガスこんろ消し忘れによる油の過熱引火
H 30. 1. 25	19:35	真鶴地内	住宅	6	1	339.23	23,882		3	石油ストーブ
H 30. 2. 5	16:30	吉浜地内	住宅	1	1	130.57	1,664	1		電気ストーブ
R 1. 11. 30	7:15	宮上地内	共同住宅	2	1	148.84	4,517		1	たばこの不始末
R 3. 4. 30	不明	宮上地内	住宅	4	1	222.2	13,620			不明

(注) 真鶴町区域内の主な火災は、常備消防委託事務を開始した昭和51年3月31日以降

8 救 急

月別救急活動状況	45
地区別救急活動状況（湯河原町・真鶴町・熱海市泉地区・管外） ／年齢区分別搬送人員／傷病程度別搬送人員	46
署所別救急活動状況（本署・奥湯河原分署・真鶴分署） ／収容所要時間別搬送人員／時間別救急出場件数	47
救急隊員の行った応急処置状況	48
救急車積載品	49
救急の推移	50



月別救急活動状況

令和5年中

月	事故種別 区分	合計	救 急 事 故 種 別											不搬送の件数
			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
計	出場件数(件)	3,148	0	0	10	118	21	3	674	11	13	2,113	185	498
	比率(%)	100	0.00	0.00	0.32	3.75	0.67	0.09	21.41	0.35	0.41	67.12	5.88	
	搬送人員(人)	2,659	0	0	6	109	21	3	581	8	6	1,764	161	
	比率(%)	100	0.00	0.00	0.23	4.10	0.79	0.11	21.85	0.30	0.23	66.34	6.05	
1	出場件数(件)	287	0	0	2	9	3	0	67	0	2	193	11	46
	搬送人員(人)	242	0	0	2	10	3	0	62	0	1	155	9	
2	出場件数(件)	239	0	0	0	5	1	0	60	1	2	158	12	46
	搬送人員(人)	194	0	0	0	5	1	0	49	1	1	128	9	
3	出場件数(件)	255	0	0	0	5	3	0	56	1	1	179	10	39
	搬送人員(人)	216	0	0	0	5	3	0	50	0	1	148	9	
4	出場件数(件)	236	0	0	0	11	1	0	65	0	1	143	15	29
	搬送人員(人)	207	0	0	0	9	1	0	50	0	1	131	15	
5	出場件数(件)	233	0	0	0	7	0	0	53	1	1	156	15	31
	搬送人員(人)	202	0	0	0	7	0	0	46	1	0	136	12	
6	出場件数(件)	235	0	0	0	7	1	2	45	1	1	156	22	37
	搬送人員(人)	198	0	0	0	4	1	2	37	1	1	134	18	
7	出場件数(件)	261	0	0	5	11	1	0	44	2	0	182	16	42
	搬送人員(人)	221	0	0	2	11	1	0	37	0	0	155	15	
8	出場件数(件)	328	0	0	1	15	1	0	52	2	1	233	23	61
	搬送人員(人)	268	0	0	1	14	1	0	43	1	0	187	21	
9	出場件数(件)	246	0	0	0	9	3	0	48	1	0	168	17	49
	搬送人員(人)	197	0	0	0	7	3	0	45	1	0	127	14	
10	出場件数(件)	282	0	0	1	19	1	1	62	0	0	178	20	51
	搬送人員(人)	232	0	0	0	17	1	1	52	0	0	144	17	
11	出場件数(件)	248	0	0	1	13	2	0	50	1	2	168	11	30
	搬送人員(人)	220	0	0	1	13	2	0	43	1	0	149	11	
12	出場件数(件)	298	0	0	0	7	4	0	72	1	2	199	13	37
	搬送人員(人)	262	0	0	0	7	4	0	67	2	1	170	11	

※不搬送件数は、出場件数の内数

地区別救急活動状況（湯河原町・真鶴町・熱海市泉地区・管外）

令和5年中

事故種別 地区別		計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	不搬送件数
湯河原町	出場件数	2,287	0	0	3	88	13	1	462	9	6	1,548	157	380
	搬送人員	1,913	0	0	3	81	13	1	391	6	4	1,275	139	
真鶴町	出場件数	591	0	0	7	20	4	2	144	1	7	380	26	86
	搬送人員	508	0	0	3	21	4	2	131	1	2	324	20	
熱海市泉	出場件数	269	0	0	0	9	4	0	68	1	0	185	2	31
	搬送人員	238	0	0	0	7	4	0	59	1	0	165	2	
管外	出場件数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	出場件数	3,148	0	0	10	118	21	3	674	11	13	2,113	185	498
	搬送人員	2,659	0	0	6	109	21	3	581	8	6	1,764	161	

年齢区分別搬送人員

令和5年中

事故種別 年齢区分	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
新生児	2	0	0	0	0			1			1	0
乳幼児	44	0	0	0	3		0	17	0	0	23	1
少年	46	0	0	0	8	0	0	17	0	0	19	2
成人	558	0	0	4	65	18	3	99	5	4	336	24
高齢者	2,009	0	0	2	33	3	0	447	3	2	1,385	134
合計	2,659	0	0	6	109	21	3	581	8	6	1,764	161

※新生児：生後28日以内
少年：満7歳以上満18歳未満
高齢者：満65歳以上

乳幼児：生後29日以上満7歳未満
成人：満18才以上65歳未満

傷病程度別搬送人員

令和5年中

事故種別 傷病程度	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
死亡	54	0	0	2	2	1	0	10	0	3	36	0
重症	153	0	0	1	1	2	0	10	0	0	117	22
中等症	1,278	0	0	2	30	8	2	227	0	3	891	115
軽傷	1,174	0	0	1	76	10	1	334	8	0	720	24
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,659	0	0	6	109	21	3	581	8	6	1,764	161

※医療機関へ搬送した人員のみ計上した。

署所別救急活動状況（本署・奥湯河原分署・真鶴分署）

令和5年中

事故種別 署所別		計（比率）		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
本署	出場件数	1,519	48.2	0	0	4	52	10	1	318	6	4	1,000	124
	搬送人員	1,232	46.3	0	0	2	47	10	1	265	5	2	797	103
奥湯河原分署	出場件数	808	25.7	0	0	0	40	6	1	182	4	1	535	39
	搬送人員	698	26.3	0	0	0	37	6	1	158	2	1	454	39
真鶴分署	出場件数	821	26.1	0	0	6	26	5	1	174	1	8	578	22
	搬送人員	729	27.4	0	0	4	25	5	1	158	1	3	513	19
合計	出場件数	3,148	100.00	0	0	10	118	21	3	674	11	13	2,113	185
	搬送人員	2,659	100.00	0	0	6	109	21	3	581	8	6	1,764	161

收容所要時間別搬送人員

令和5年中

收容時間 事故種別	計	覚知から医療機関等に收容するまでに要した時間					
		10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上
急病	1,764	0	1	32	895	777	59
交通事故	109	0	0	3	46	56	4
一般負傷	581	0	0	9	332	223	17
その他	205	0	1	11	126	63	4
合計	2,659	0	2	55	1,399	1,119	84

時間別救急出場件数

令和5年中

種別 時間	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
0～2	122	0	0	0	2	0	0	30	1	0	89	0
2～4	83	0	0	0	1	0	0	13	0	0	68	1
4～6	115	0	0	0	1	0	0	16	0	1	93	4
6～8	220	0	0	0	12	1	0	45	0	1	158	3
8～10	427	0	0	2	11	4	1	111	0	1	280	17
10～12	394	0	0	5	18	6	0	84	1	0	245	35
12～14	371	0	0	2	18	4	1	71	0	2	231	42
14～16	376	0	0	0	20	3	1	82	3	1	234	32
16～18	343	0	0	1	15	2	0	67	1	2	224	31
18～20	296	0	0	0	13	0	0	64	3	3	201	12
20～22	244	0	0	0	7	0	0	52	1	1	179	4
22～24	157	0	0	0	0	1	0	39	1	1	111	4
合計	3,148	0	0	10	118	21	3	674	11	13	2,113	185

救急隊員の行った応急処置状況

令和5年中

事故種別 処置内容	合計	搬送者に対する処置					不搬送者に対する処置				
		小計	急病	交通事故	一般負傷	その他	小計	急病	交通事故	一般負傷	その他
処置人員	2,662	2,659	1,764	109	581	205	3	2	0	1	0
処置回数	11,667	11,659	7,920	515	2,320	904	8	5	0	3	0
止血	54	54	3	1	44	6	0				
固定	98	98	1	42	42	13	0				
人工呼吸	3	3	2	0	0	1	0				
心臓マッサージ	0	0	0	0	0	0	0				
〃 自動	0	0	0	0	0	0	0				
心肺蘇生	63	63	43	2	11	7	0				
〃 自動	46	46	32	0	11	3	0				
酸素吸入	556	556	454	7	37	58	0				
気道確保	87	87	64	2	14	7	0				
経鼻エアウェイ	8	8	5	0	2	1	0				
喉頭鏡・鉗子	2	2	0	0	2	0	0				
リンゲルマスク等	40	40	25	1	9	5	0				
気管挿管	3	3	2	1	0	0	0				
保温	52	52	29	8	8	7	0				
被覆	174	174	6	26	132	10	0				
在宅医療継続	131	131	111	1	19	0	0				
中心静脈栄養管理	5	5	5	0	0	0	0				
外傷処置	20	20	15	1	4	0	0				
その他の在宅医療	113	113	98	0	15	0	0				
ショックパンツ	0	0	0	0	0	0	0				
除細動	5	5	5	0	0	0	0				
静脈路確保	46	46	28	2	10	6	0				
薬剤投与	42	42	24	2	10	6	0				
その他	2,680	2,677	1,779	107	585	206	3	2		1	
血圧測定	2,587	2,585	1,718	104	565	198	2	1		1	
心音・呼吸音聴取	1,048	1,048	761	74	135	78	0				
血中酸素飽和濃度測定	2,597	2,595	1,723	107	566	199	2	1		1	
心電図	1,444	1,443	1,169	30	142	102	1	1			
心電図伝送	0	0	0	0	0	0	0				

救 急 車 積 載 品

種 別	積 載 品
高度救命器材	食道閉鎖式エアウェイ (WB)・ラリングアルチューブ (LT)・輸液関係一式・気管挿管器材一式・アドレナリン・血糖測定器一式・ブドウ糖液・半自動除細動器・ビデオ喉頭鏡・自動心肺蘇生器
観 察 器 材	心電計・血圧計・聴診器・検眼ライト・各種体温計・喉頭鏡・経皮的動脈血酸素飽和度測定器
呼吸・循環等 管 理 用 品	人工呼吸器・加湿酸素吸入装置・高濃度酸素マスク・中濃度マスク・経鼻腔カニューレ・バイトブロック・開口器・吸引器・経鼻エアウェイ・経口エアウェイ・マギール鉗子・レーダーサーク・ライフスコープ
創傷保護器材	頸部固定用カラー・固定副子・止血帯・滅菌タオル・滅菌ガーゼ・滅菌レスキューシート・伸縮包帯 (各サイズ)・ネットバンテージ・特殊包帯・絆創膏・三角巾・アームホルダー・ターニケット・T-POD レスポンダー
保温搬送器材	メインストレッチャー・枕・身体固定ベルト・ターポリン担架・コールドバック (冷却)・バックボード・スクープストレッチャー
救 助 器 材	ケブラー手袋・万能はさみ・ロープ (カラビナ付)・万能斧・ガラスカッター・シートベルトカッター・歯止め
感 染 防 止 用 品	感染防止衣セット・N95マスク・ゴーグル・ディスポザブルグローブ・サージカルマスク・シューズカバー・リユース感染防止衣セット・ポータブルアイソレータ
出 産 用 品	手術用滅菌手袋・滅菌バスタオル・羊水吸引カテーテル・臍帯クリップ・直後パット・吸水パット・アップガースコアー
そ の 他	反射ベスト・懐中電灯・尿瓶・トリアージタグ・消火器・洗眼器・のう盆・リングカッター・吸水マット・防刃ベスト・携帯電話・冷温蔵庫・オゾン発生器

救 急 の 推 移

(過去10年間)

事故種別 年度 区分		合 計	救 急 事 故 種 別											不 搬 送
			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
計	出場件数	26,852	10	5	97	1,170	216	30	5,516	117	154	17,790	1,747	2,765
	搬送人員	24,195	8	6	55	1,165	216	30	5,031	91	101	16,015	1,477	
10 年 平 均	出場件数	2,685	1.0	0.5	9.7	117.0	21.6	3.0	551.6	11.7	15.4	1,779.0	174.7	276.5
	搬送人員	2,420	0.8	0.6	5.5	116.5	21.6	3.0	503.1	9.1	10.1	1,601.5	147.7	
平成 26 年	出場件数	2,716	2	0	13	147	33	3	519	10	22	1,790	177	241
	搬送人員	2,478	2	0	10	143	33	3	483	9	15	1,638	142	
平成 27 年	出場件数	2,616	2	0	13	135	16	4	517	18	20	1,706	185	207
	搬送人員	2,438	0	0	8	146	16	4	491	14	17	1,576	166	
平成 28 年	出場件数	2,650	1	1	9	135	21	6	500	13	18	1,748	198	202
	搬送人員	2,459	0	1	7	134	21	6	468	11	12	1,636	163	
平成 29 年	出場件数	2,557	1	0	11	111	23	2	542	11	22	1,660	174	220
	搬送人員	2,341	1	0	5	110	23	2	493	9	12	1,539	147	
平成 30 年	出場件数	2,658	4	3	1	130	18	5	562	13	11	1,718	193	235
	搬送人員	2,441	5	4	1	136	18	5	520	8	7	1,582	155	
令和 元 年	出場件数	2,729	0	1	8	108	22	2	561	17	13	1,834	163	256
	搬送人員	2,487	0	1	4	117	22	2	517	14	10	1,666	134	
令和 2 年	出場件数	2,434	0	0	13	114	17	1	505	9	11	1,589	175	261
	搬送人員	2,179	0	0	6	101	17	1	450	6	7	1,435	156	
令和 3 年	出場件数	2,500	0	0	11	83	25	3	525	6	9	1,674	164	276
	搬送人員	2,231	0	0	6	83	25	3	481	6	6	1,481	140	
令和 4 年	出場件数	2,844	0	0	8	89	20	1	611	9	15	1,958	133	369
	搬送人員	2,482	0	0	2	86	20	1	547	6	9	1,698	113	
令和 5 年	出場件数	3,148	0	0	10	118	21	3	674	11	13	2,113	185	498
	搬送人員	2,659	0	0	6	109	21	3	581	8	6	1,764	161	

※不搬送件数は、出場件数の内訳

9 救 助

救助活動状況／地域別救助出場状況	51
時間別救助出場状況／救助の推移	52
災害対応特殊ポンプ自動車(救助仕様)装備品	53



救 助 活 動 状 況

令和5年中

	合 計	事 故 種 別									
		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故
		建 物	建 以 外								
出 場 件 数	40	0	0	3	7	0	0	19	1	0	10
活 動 件 数	24	0	0	2	4	0	0	9	1	0	8
出 場 人 員	395	0	0	36	86	0	0	162	7	0	104
活 動 人 員	246	0	0	24	55	0	0	73	7	0	87
救 助 人 員	30	0	0	3	6	0	0	9	2	0	10

地 域 別 救 助 出 場 状 況

令和5年中

		合 計	事 故 種 別									
			火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故
			建 物	建 以 外								
合計		40	0	0	3	7	0	0	19	1	0	10
湯 河 原 町	宮上	11	0	0	3	0	0	0	6	0	0	2
	宮下	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	土肥	6	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0
	城堀	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	門川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鍛冶屋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	吉浜	7	0	0	0	1	0	0	2	0	0	4
	中央	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	福浦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	28	0	0	3	1	0	0	18	0	0	6
真 鶴 町	真鶴	11	0	0	0	6	0	0	0	1	0	4
	岩	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	小計	12	0	0	0	6	0	0	1	1	0	4

時間別救助出場状況

令和5年中

	合 計	事 故 種 別										
		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外									
合 計	40	0	0	3	7	0	0	19	1	0	10	
0 ～ 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3 ～ 6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6 ～ 9	7	0	0	1	1	0	0	4	0	0	1	
9 ～ 12	10	0	0	0	4	0	0	5	0	0	1	
12 ～ 15	6	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3	
15 ～ 18	9	0	0	1	0	0	0	4	1	0	3	
18 ～ 21	5	0	0	1	0	0	0	3	0	0	1	
21 ～ 0	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	

救助の推移

平成30年～令和5年

		合 計	事 故 種 別										
			火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 故
			建 物	建 物 以 外									
平成30年 (2018)	湯河原	29	1	0	2	0	0	0	11	0	0	15	
	真 鶴	14	0	0	4	0	2	0	3	0	0	5	
令和元年 (2019)	湯河原	27	0	0	6	1	0	0	10	0	0	10	
	真 鶴	13	0	0	0	4	0	0	4	0	0	5	
令和 2 年 (2020)	湯河原	24	0	0	5	1	0	0	11	0	0	7	
	真 鶴	15	0	0	3	6	0	0	2	0	0	4	
令和 3 年 (2021)	湯河原	31	0	0	5	2	0	0	14	0	0	10	
	真 鶴	20	0	0	2	6	0	0	6	0	0	6	
令和 4 年 (2022)	湯河原	38	0	0	3	1	0	1	25	1	0	7	
	真 鶴	17	0	0	0	9	0	0	1	0	0	7	
令和 5 年 (2023)	湯河原	28	0	0	3	1	0	0	18	0	0	6	
	真 鶴	12	0	0	0	6	0	0	1	1	0	4	
合 計	湯河原	177	1	0	24	6	0	1	89	1	0	55	
	真 鶴	91	0	0	9	31	2	0	17	1	0	31	
	両町合計	268	1	0	33	37	2	1	106	2	0	86	

災 害 対 応 特 殊 ポ ン プ 自 動 車 (救 助 仕 様) 装 備 品

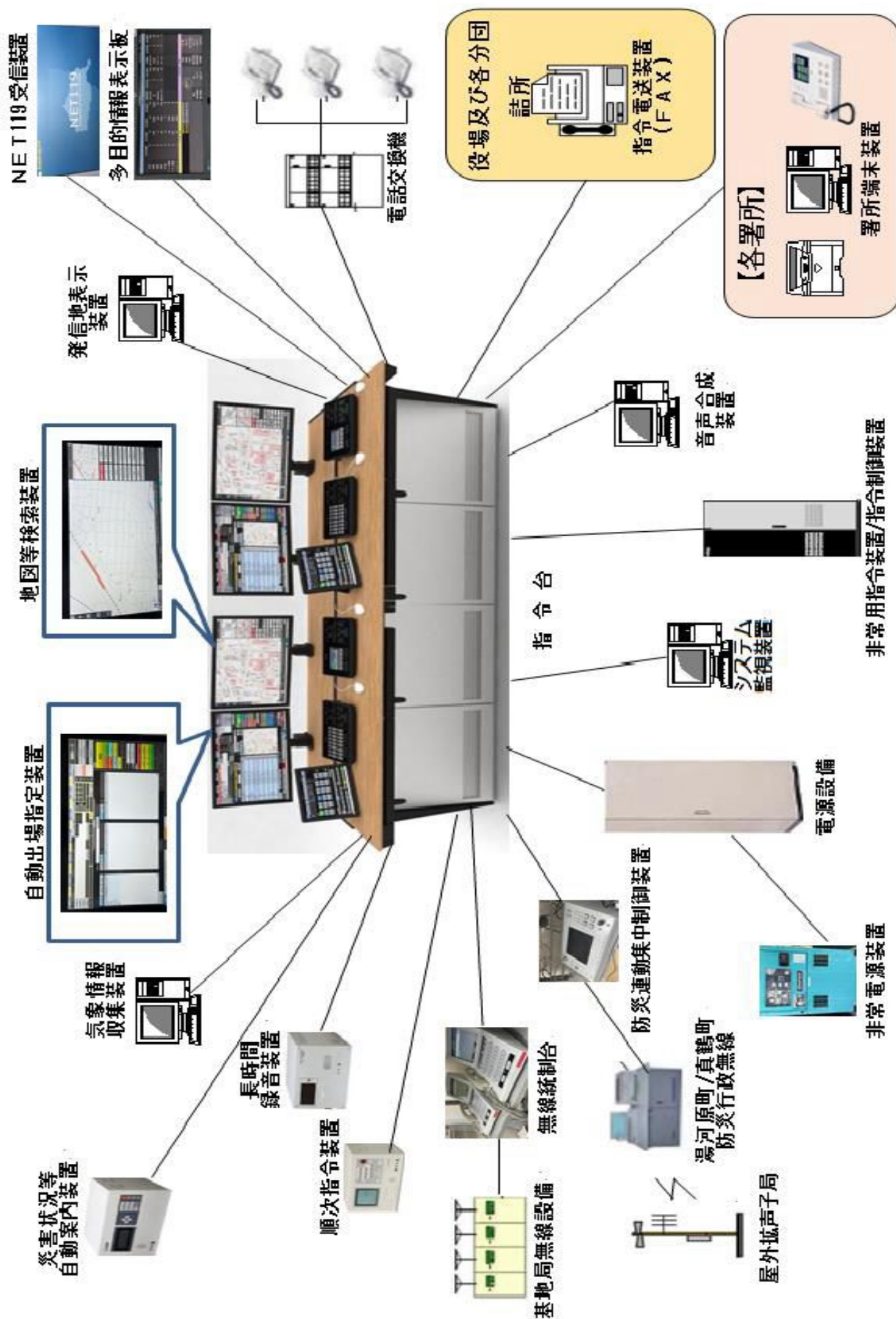
項 目	装 備 品
一 般 救 助 用 器 具	・三連はしご ・ワイヤはしご ・空気式救助マット ・救命索発射銃（チューブ式） ・各種救助用縛帯 ・ナイロンロープ ・スタティックロープ ・カラビナ ・滑車 ・レスキューストレッチャー ・バックボード一式 ・ハーネスボード
重 量 物 排 除 用 器 具	・油圧ジャッキ ・マット型空気ジャッキ一式 ・大型油圧スプレッダー ・大型油圧シリンダー ・可搬ウインチ ・ワイヤロープ ・マンホール救助器具 ・マルチスリング
切 断 用 器 具	・エンジンカッター ・チェーンソー ・根切りチェーンソー ・空気鋸 ・大型油圧切断機
破 壊 用 器 具	・万能斧 ・ハンマー ・携帯用コンクリート破壊器具 ・削岩機 ・ハンマドリル
検 知 ・ 測 定 用 器 具	・可燃性ガス測定器 ・携帯型複合ガス検知器 ・放射線測定器
呼 吸 保 護 用 器 具	・空気呼吸器（予備ボンベ含む） ・防塵マスク
隊 員 保 護 用 器 具	・耐電手袋 ・フルハーネス ・胴付長靴 ・携帯警報器 ・防毒マスク ・化学防護服（陽圧式以外） ・陽圧式化学防護服 ・個人用線量計 ・耐電長靴 ・耐電衣 ・耐電ズボン ・活線接近警報器
除 染 用 器 具	・除染シャワー
水 難 救 助 用 器 具	・潜水器具一式 ・流水救助器具一式 ・救命胴衣 ・水中投光器 ・救命浮環 ・浮標 ・救命ボート ・船外機 ・水中時計
山 岳 救 助 用 器 具	・バスケット担架
その他の救助用器具	・投光器一式 ・携帯投光器 ・携帯拡声器 ・携帯無線機 ・署活系無線機 ・応急処置用セット ・発電機
放 水 用 器 具	・ガンタイプノズル ・40mm ホース

10 通 信

高機能消防指令センター機器構成図	54
無線局配置状況	55
無線局使用状況	56



高機能消防指令センター機器構成図



無線局配置状況

令和6年4月1日現在

所 属 区 分			チャンネル						型 式	出力 w	配 置 年 月
			市町村波 1 活動波	市町村波 2 活動波	主運用波 6 県内共通波	統制波 1 全国波	統制波 2 全国波	統制波 3 全国波			
本 部	基地局	しょうぼう ゆがわら	○	○	○	○	○	○	CF-2714F	20	H27. 12
	指令車	ゆがわら指令 1	○	○	○	○	○	○	CM-2511D2	10	H27. 12
	指揮車	ゆがわら指揮 1	○	○	○	○	○	○	CM-2511D2	10	H27. 12
		ゆがわら指揮 2	○	○	○	○	○	○	CM-2511D2	10	H27. 12
	携帯局	ゆがわら 104	○	○	○	○	○	○	CP-2010	5	H27. 12
		ゆがわら 105	○	○	○	○	○	○	CP-2010	5	H27. 12
本 署	消防ポンプ 自動車	ゆがわら 1	○	○	○	○	○	○	CM-2511D2	10	H27. 12
		ゆがわら 2	○	○	○	○	○	○	CM-2511D2	10	H27. 12
	梯子車	ゆがわら梯子 1	○	○	○	○	○	○	CM-2511D2	10	H27. 12
	災害対応 特殊消防 ポンプ自動車	ゆがわら特殊 1	○	○	○	○	○	○	CM-2511D2	10	H27. 12
	資機材 搬送車	ゆがわら搬送 1	○	○	○	○	○	○	CM-2511D2	10	H27. 12
	携帯局	ゆがわら 101	○	○	○	○	○	○	CP-2010	5	H27. 12
		ゆがわら 102	○	○	○	○	○	○	CP-2010	5	H27. 12
		ゆがわら 103	○	○	○	○	○	○	CP-2010	5	H27. 12
	救急車	ゆがわら救急 1	○	○	○	○	○	○	CM-2511D2	10	H27. 12
		ゆがわら救急 5	○	○	○	○	○	○	CM-2511D2	10	H27. 12
	サポート 搬送車	ゆがわら またさぼ 1	○	○	○	○	○	○	CM-2011D	10	R2. 6
分 署	消防ポンプ 自動車	おくゆがわら 1	○	○	○	○	○	○	CM-2511D2	10	H27. 12
		まなづる 1	○	○	○	○	○	○	CM-2511D2	10	H27. 12
	救急車	ゆがわら救急 2	○	○	○	○	○	○	CM-2511D2	10	H30. 11
		ゆがわら救急 3	○	○	○	○	○	○	CM-2511D2	10	H27. 12
	携帯局	おくゆがわら可搬 1	○	○	○	○	○	○	CM-2511DM	10	H27. 12
		まなづる可搬 1	○	○	○	○	○	○	CM-2511DM	10	H27. 12
		おくゆがわら 101	○	○	○	○	○	○	CP-2010	5	H27. 12
		まなづる 101	○	○	○	○	○	○	CP-5068T	5	H27. 12
消 防 団	指令車	ゆがわら団 1	○	○	○	○	○	○	CM-2511D2	10	H27. 12
	消防ポンプ 自動車	ゆがわら団 2	○	○	○	○	○	○	CM-2511D2	10	H27. 12

※ゆがわら救急 2 車載無線機にあっては、H30. 7 の高波により損傷しその後新規購入したものの。

※令和 2 年 6 月からゆがわらマタサボ 1 に車載無線を配置。

無線局使用状況

令和5年中

区分 呼出名称		試験	緊急	事務連絡等	合計
本部	ゆがわら指令1	389	0	1	390
	ゆがわら指揮1	318	21	1	340
	ゆがわら指揮2	389	13	2	404
	ゆがわら104	389	0	0	389
	ゆがわら105	389	0	0	389
本署	ゆがわら1	389	27	13	429
	ゆがわら2	389	209	22	620
	ゆがわら特殊1	389	44	5	438
	ゆがわら梯子1	140	2	0	142
	ゆがわら搬送1	389	12	1	402
	ゆがわら救急1	389	1,379	1	1,769
	ゆがわら救急2	389	214	4	607
	ゆがわら救急3	389	799	20	1,208
	ゆがわら救急5	389	656	15	1,060
	ゆがわら101	389	0	0	389
	ゆがわら102	389	0	0	389
	ゆがわら103	389	0	0	389
	ゆがわらまたさぼ1	389	21	0	410
	奥ゆがわら1	389	12	15	416
	奥ゆがわら可搬1	389	0	0	389
分署	奥ゆがわら101	389	0	1	390
	まなづる1	389	29	21	439
	まなづる可搬1	389	0	0	389
	まなづる101	389	0	0	389
常備消防計		9,016	3,438	122	12,576
消防団	ゆがわら団1	392	0	0	392
	ゆがわら団2	393	2	0	395
	ゆがわら署活団5	12			12
	ゆがわら署活団長	12			12
	ゆがわら署活第1中隊長	12			12
	ゆがわら署活第2中隊長	12			12
	ゆがわら署活第3中隊長	12			12
	ゆがわら署活第1分団長	12			12
	ゆがわら署活第1分団	12			12
	ゆがわら署活団102	12			12
	ゆがわら署活団103	12			12
	ゆがわら署活第2分団長	12			12
	ゆがわら署活第2分団	12			12
	ゆがわら署活団202	12			12
	ゆがわら署活団203	12			12
	ゆがわら署活第3分団長	12			12
	ゆがわら署活第3分団	12			12
	ゆがわら署活団302	12			12
	ゆがわら署活団303	12			12
	ゆがわら署活第4分団長	12			12
	ゆがわら署活第4分団	12			12
	ゆがわら署活団402	12			12
	ゆがわら署活団403	12			12
	ゆがわら署活第5分団長	12			12
	ゆがわら署活第5分団	12			12
	ゆがわら署活団502	12			12
	ゆがわら署活団503	12			12
	ゆがわら署活第6分団長	12			12
	ゆがわら署活第6分団	12			12
	ゆがわら署活団602	12			12
	ゆがわら署活団603	12			12
	ゆがわら署活第7分団長	12			12
	ゆがわら署活第7分団	12			12
	ゆがわら署活団702	12			12
	ゆがわら署活団703	12			12
	ゆがわら署活第8分団長	12			12
	ゆがわら署活第8分団	12			12
	ゆがわら署活団802	12			12
	ゆがわら署活団803	12			12
	ゆがわら署活第9分団長	12			12
	ゆがわら署活第9分団	12			12
	ゆがわら署活団902	12			12
	ゆがわら署活団903	12			12
非常備消防計		1,277	2	0	1,279
合計		10,293	3,440	122	13,855

11 気 象

天候別日数／月別気象状況	57
風向／気温	58
気象通報受信状況	59

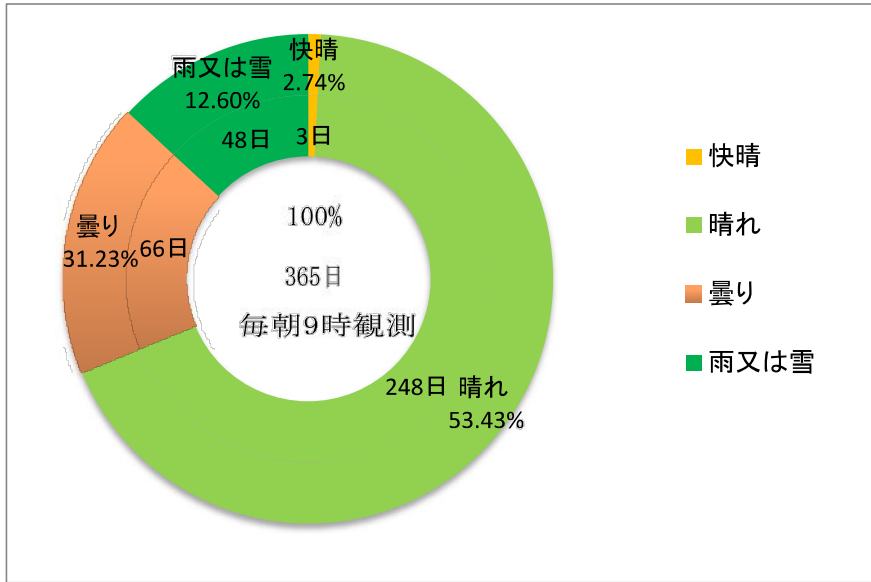
(※ この気象統計は、消防庁舎に設置の気象観測機器による
参考データです。)



天 候 別 日 数

令和 5 年中

(単位 ; 日)



雲 量	
快 晴	0 ～ 1
晴	2 ～ 8
曇	9 ～ 10

月 別 気 象 状 況

令和 5 年中

区分 月 別	気 温 (℃)			湿 度 (%)		降 雨 量 (mm)		最 多 風 向	天 候 日 数			
	最高	最低	月 平均	実効 月 平均	相対 月 平均	月 総雨量	月 最大 降雨量		快晴	晴れ	曇り	雨又は雪
1	17.2	-1.8	7.0	61.5	61.3	29.0	13.0	西	0	22	6	3
2	17.9	-0.2	8.3	63.2	63.6	80.0	30.0	西	0	18	6	4
3	26.0	4.8	13.4	68.2	69.6	164.0	35.0	西	0	16	9	6
4	26.4	7.0	16.8	63.5	63.3	139.0	49.5	西	0	21	5	4
5	31.7	9.8	19.1	72.5	73.5	299.5	79.0	西	0	18	5	8
6	32.6	15.2	23.0	80.8	80.9	396.0	193.0	西	0	16	9	5
7	36.8	20.2	27.9	75.9	75.2	114.0	53.0	西	0	24	6	1
8	35.8	23.6	28.8	80.4	81.2	310.5	69.5	西	2	23	3	3
9	34.5	18.4	26.9	78.1	78.5	139.0	45.5	西	0	19	5	6
10	33.1	12.3	19.2	72.9	72.8	139.0	33.5	西	0	23	5	3
11	27.3	7.2	15.5	69.8	68.8	76.5	48.5	西	0	23	5	2
12	23.1	2.8	10.5	64.3	65.4	57.0	30.0	西	1	25	2	3
合計	—	—	—	—	—	1943.5	—	—	3	248	66	48
平均	28.5	9.9	18.0	70.9	71.2	162.0	—	—	—	—	—	—
前年	27.4	9.4	17.2	69.3	69.6	165.6	—	—	—	—	—	—
増減	1.1	0.5	0.8	1.6	1.6	-3.6	—	—	—	—	—	—

風 向

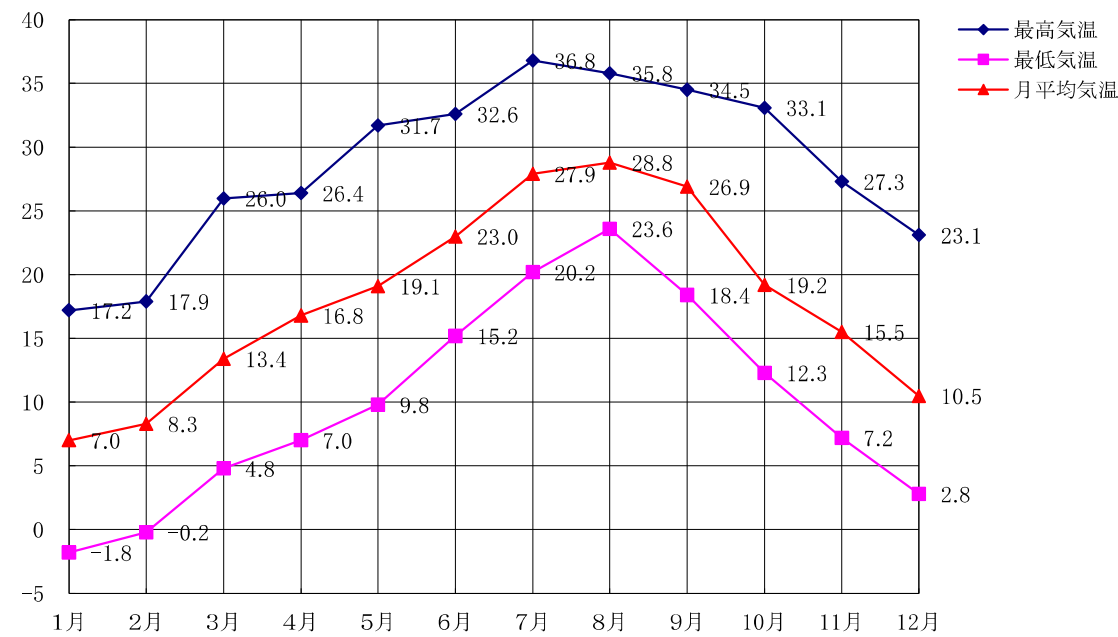
令和5年中

月別 風向	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
東			2		1			1	1		1		6
東南東				1	1	2	1	1					6
南東				1	3	8	5	4					21
南南東								1					1
南													0
南南西													0
南西				1			2		1				4
西南西	1		1	3	2	2	1	3		3	4		20
西	28	27	24	22	23	16	21	17	23	28	25	30	284
西北西						1	1					1	3
北西													0
北北西													0
北													0
北北東								2	2				4
北東	2		2	2				1	1				8
東北東		1	2		1	1		1	2				8
無風													0

気 温

令和5年中

(単位 : °C)



気象通報受信状況

令和5年中

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
警報	暴風													0
	大雪													0
	波浪								7					7
	大雨						10							10
	洪水													0
	津波													0
	高潮													0
	暴風雪													0
	計	0	0	0	0	0	10	0	7	0	0	0	0	17
注意報	大雨			2		9	10		18	5				44
	洪水						5							5
	波浪	5	10	4	15	20	24	4	24	12	5	18	16	157
	強風	37	44	18	30	29	26	22	10	23	31	36	36	342
	雷	2	6	12	14	18	30	31	64	47	24	14	2	264
	霜			2	1						1			4
	着雪		5											5
	津波													0
	濃霧		1	2			7			2		1		13
	乾燥	34	43	2	6	1					4	8	41	139
	風雪													0
	着氷													0
	高潮													0
	大雪		5											5
	低温	6												6
	計	84	114	42	66	77	102	57	116	89	65	77	95	984
気象情報	大雨					12	16		13	11	9	8		69
	雷				7		12	6	11	11	1	6		54
	台風								11	4				15
	神奈川県火災気象通報	29	31	6	17	9	4	6	2	8	10	20	35	177
	低気圧													0
	強風		5		2		3		1					11
	低温													0
	雪	2	10											12
	地震													0
	寒気に関する気象情報													0
	記録的短時間大雨													0
	強い冬型に関する													0
	日照不足													0
	ひょう				1		4	16	7	5				33
	高波		5		14	1	7		5			6	11	49
	高温情報													0
	光化学スモッグ													0
	津波情報													0
	竜巻注意情報						2	4	4	1		3		14
	暴風情報													0
	土砂災害警戒情報						6							6
	黄砂に関する気象情報				1									1
	熱中症警戒アラート							15	28	2				45
	計	31	51	6	42	22	54	47	82	42	20	43	46	486
特別警報	特別大雨警報													0
	特別暴風警報													0
	特別暴風雪警報													0
	特別大雪警報													0
	特別地震動													0
	特別火山現象													0
	特別地面現象													0
	特別津波警報													0
	特別高潮警報													0
	特別波浪警報													0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

12 消 防 団

歴代消防団長	60
消防団員状況／消防団員報酬（年額）／消防団員手当 ／消防団員配置状況	61
消防団員年齢・勤続年数／消防団員職業状況	62
消防団の現況／消防団詰所設置状況	63
消防団ポンプ配置状況	64
町消防操法大会優勝分団	65



歴代消防団長

初 代（昭和22年7月～昭和46年3月）	常 盤 與 一
第 2 代（昭和46年4月～昭和48年3月）	小石川 清 作
第 3 代（昭和48年4月～昭和52年3月）	福 井 三七夫
第 4 代（昭和52年4月～昭和56年3月）	岩 本 良 夫
第 5 代（昭和56年4月～昭和60年3月）	鈴 木 嘉 一
第 6 代（昭和60年4月～平成2年3月）	深 澤 公 行
第 7 代（平成2年4月～平成7年3月）	八 亀 義 臣
第 8 代（平成7年4月～平成11年3月）	藤 中 倉 藏
第 9 代（平成11年4月～平成18年3月）	加 藤 博
第 10 代（平成18年4月～平成24年3月）	岩 本 賢 一
第 11 代（平成24年4月～令和2年3月）	興 津 恒 夫
第 12 代（令和2年4月～令和6年3月）	二 見 浩 一
第 13 代（令和6年4月～現 在）	高 橋 則 吉

消 防 団 員 状 況

令和6年4月1日現在

区 分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	機能別 消防団員	合 計
定 員(人)	1	階 級 別 定 員 な し						27	220
実 員(人)	1	3	9	9	27	27	77	25	178

消 防 団 員 報 酬 (年額)

令和6年4月1日現在

階 級 区 分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	機能別 消防団員
金 額 (円)	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500	10,000

消 防 団 員 手 当

令和6年4月1日現在

種 別	災害出場	警 戒	訓 練	研修等
基 礎	4H以上/4H未満	2H以上/2H未満	2H以上/2H未満	2H以上/2H未満
金 額 (円)	8,000/4,000	3,500/2,000	3,500/2,000	3,500/2,000

消 防 団 員 配 置 状 況

令和6年4月1日現在

区 分 階 級	団 本 部	第 1 分 団	第 2 分 団	第 3 分 団	第 4 分 団	第 5 分 団	第 6 分 団	第 7 分 団	第 8 分 団	第 9 分 団	合 計
団 長	1										1
副 団 長	3										3
分 団 長		1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
副 分 団 長		1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
部 長		3	3	3	3	3	3	3	3	3	27
班 長		3	3	3	3	3	3	3	3	3	27
団 員		14	8	10	10	10	8	7	2	8	77
機能別消防団員	25										25
合 計	29	22	16	18	18	18	16	15	10	16	178

機能別消防団員：H30.4.1発足、退団した正副分団長又は団長が認める者

消 防 団 員 年 齢 ・ 勤 続 年 数

令和6年4月1日現在

階 級 区 分		団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
人 員 (人)		1	3	9	9	27	27	102	178
年 齢 別	18 歳 以 上 20 歳 未 満							1	1
	20 歳 以 上 25 歳 未 満							10	10
	25 歳 以 上 30 歳 未 満						1	28	29
	30 歳 以 上 35 歳 未 満					2	5	12	19
	35 歳 以 上 40 歳 未 満					6	6	10	22
	40 歳 以 上 45 歳 未 満				5	12	11	2	30
	45 歳 以 上 50 歳 未 満			7	1	7	3	19	37
	50 歳 以 上 55 歳 未 満		1	2	3		1	13	20
	55 歳 以 上	1	2					7	10
	平 均 年 齢	62.0	57.3	47.2	46.3	43.3	41.0	36.6	47.7

階 級 区 分		本 部	第 1 分 団	第 2 分 団	第 3 分 団	第 4 分 団	第 5 分 団	第 6 分 団	第 7 分 団	第 8 分 団	第 9 分 団	合 計
人 員 (人)		29	22	16	18	18	18	16	15	10	16	178
在 職 年 数 別	5 年 未 満		8	2	6	3	3	2		2	2	28
	5 年 以 上 10 年 未 満		2	3	4	4	3	4	3	3	3	29
	10 年 以 上 15 年 未 満		3	2	4	5	4	3	3	2	3	29
	15 年 以 上 20 年 未 満		1	6	1	3	3	4	2	1	5	26
	20 年 以 上 25 年 未 満	2	4	1	3	2	2	3	4		3	24
	25 年 以 上 30 年 未 満	15	4	2			2		2	2		27
	3 0 年 以 上	12				1	1		1			15

消 防 団 員 職 業 状 況

令和6年4月1日現在

職 業 構 成												
農 業	林業・漁業・鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・飲食店・小売業	金融・保険業	不動産業	サービス業	公務員・公務員に準ずる職員	その他の不能	計
7	2	51	11	10	10	13		1	41	12	20	178

(単位：人)

消 防 団 の 現 況

令和6年4月1日現在

区 分	消 防 団 員			消防ポンプ自動車		
現 況	178 人			10 台		
細 別	消防団員1人当り			消防ポンプ自動車1台当り		
区 分	面 積	人 口	世 帯	面 積	人 口	世 帯
平 均 値	0.23km ²	130.9人	72.1世帯	4.1km ²	2329.2人	1283.1世帯

消 防 団 詰 所 設 置 状 況

令和6年4月1日現在

区 分 名 称	所 在 地	構造・階数	延べ面積 (m ²)	建築年月
第1分団	宮上486 TEL:64-2701	鉄骨造2階建	127.60	平成4年3月
第2分団	宮上287-3 TEL:64-2702	鉄骨造2階建	138.68	平成12年12月
第3分団	土肥5-11-23 TEL:64-2703	鉄筋コンクリート造 2階建	102.16	昭和48年10月
第4分団	中央1-3-6 TEL:64-2704	鉄骨造2階建	113.50	昭和54年12月
第5分団	門川234-2 TEL:64-2705	鉄骨造2階建	142.74 (津波避難タワー と併設)	平成29年3月
第6分団	鍛冶屋379 TEL:64-2706	鉄骨造2階建	119.72	昭和52年12月
第7分団	吉浜999 TEL:64-2707	鉄筋コンクリート造 3階建	※96.12 (福祉会館併設)	昭和46年3月
第8分団	吉浜397-1 TEL:64-2708	鉄骨造2階建	84.85	昭和49年11月
第9分団	福浦388 TEL:64-2709	鉄骨造1階建	128.35	平成26年11月

※印は、占有面積

消 防 団 ポ ン プ 配 置 状 況

令和 6 年 4 月 1 日現在

所 属	種 別	型 式	排気量 (ℓ)	艀 装 メーカ―	級 別	配置年月	備 考
本 団	ポンプ自動車 CD-I 型	いすゞ TDG-NMS85AN	2.99	モリタ	A-2	平成26年12月	総務省 貸付
	団 指 令 車	日産キャラバン 3BA-KS6E26	2.48	—	—	令和 5 年 1 月	(公財)日 本消防協 会 交付
第 一 分 団	ポンプ自動車 CD-I 型	日 野 TKG-XZU640M	4.00	長野ポンプ	A-2	平成26年11月	
	小型動力ポンプ	ト ー ハ ツ V 20 E	—	—	C-1	平成16年10月	県補助
第 二 分 団	ポンプ自動車 CD-I 型	日 野 TKG-XZU640M	4.00	小川ポンプ 工業	A-2	平成24年11月	
	小型動力ポンプ	ト ー ハ ツ V 20 E	—	—	C-1	平成13年10月	県補助
第 三 分 団	ポンプ自動車 CD-I 型	日 野 TPG-XZU640M	4.00	モリタ	A-2	平成30年10月	県補助
	小型動力ポンプ	ト ー ハ ツ V 20 E	—	—	C-1	平成14年10月	県補助
第 四 分 団	ポンプ自動車 CD-I 型	日 野 BDG-XZU334M	4.00	日本機械 工業	A-2	平成22年10月	県補助
	小型動力ポンプ	ト ー ハ ツ V 20 E	—	—	C-1	平成14年10月	県補助
第 五 分 団	ポンプ自動車 CD-I 型	日 野 PD-XZU334M	4.00	日本機械 工業	A-2	平成18年9月	県補助
	小型動力ポンプ	ト ー ハ ツ V 20 E	—	—	C-1	平成18年9月	県補助
第 六 分 団	ポンプ自動車 CD-I 型	日 野 BDG-XZU334M	4.00	日本機械 工業	A-2	平成19年10月	県補助
	小型動力ポンプ	ト ー ハ ツ V 20 E	—	—	C-1	平成13年10月	県補助
第 七 分 団	ポンプ自動車 CD-I 型	いすゞ PB-NKR81N	4.77	日本機械 工業	A-2	平成17年11月	県補助
	小型動力ポンプ	ト ー ハ ツ V 20 E	—	—	C-1	平成16年10月	県補助
第 八 分 団	ポンプ自動車 CD-I 型	いすゞ PB-NKR81N	4.77	日本機械 工業	A-2	平成16年10月	県補助
	小型動力ポンプ	ト ー ハ ツ V 20 E	—	—	C-1	平成16年10月	県補助
第 九 分 団	ポンプ自動車 CD-I 型	トヨタ LDF-KDY231改	2.98	モリタ	A-2	令和 3 年11月	県補助
	小型動力ポンプ	ト ー ハ ツ V 20 E	—	—	C-1	平成15年11月	県補助

町 消 防 操 法 大 会 優 勝 分 団

年 別	優勝分団	地区名	備 考
昭和46年(1971) 7 月	第 3 分団	宮 下	
昭和47年(1972) 7 月	第 3 分団	宮 下	・ 県大会出場 優秀賞
昭和48年(1973) 7 月	第 5 分団	門 川	
昭和49年(1974) 7 月	第 3 分団	宮 下	
昭和50年(1975) 7 月	第 5 分団	門 川	・ 県大会出場 優秀賞
昭和51年(1976) 7 月	第 5 分団	門 川	
昭和52年(1977) 7 月	第 2 分団	宮 上	・ 県大会出場
昭和53年(1978) 7 月	第 2 分団	宮 上	
昭和54年(1979) 7 月	第 7 分団	吉浜・中央	
昭和55年(1980) 7 月	第 1 分団	奥湯河原 温泉場	・ 県大会出場
昭和56年(1981) 6 月	第 2 分団	宮 上	
昭和57年(1982) 6 月	第 3 分団	宮 下	
昭和58年(1983) 6 月	第 3 分団	宮 下	
昭和59年(1984) 7 月	第 5 分団	門 川	
昭和60年(1985) 7 月	第 2 分団	宮 上	
昭和61年(1986) 6 月	第 5 分団	門 川	・ 県大会出場
昭和62年(1987) 6 月	第 2 分団	宮 上	
昭和63年(1988) 7 月	第 4 分団	城 堀	
平成 2 年(1990) 6 月	第 2 分団	宮 上	
平成 4 年(1992) 6 月	第 2 分団	宮 上	・ 県大会（第38回）出場 最優秀賞（優勝）
平成 6 年(1994) 6 月	第 4 分団	城 堀	
平成 8 年(1996) 6 月	第 3 分団	宮 下	
平成10年(1998) 6 月	第 2 分団	宮 上	・ 県大会（第41回）出場 最優秀賞（優勝） ・ 全国大会（第16回）出場 優良賞
平成12年(2000) 6 月	第 2 分団	宮 上	
平成14年(2002) 6 月	第 7 分団	吉浜・中央	
平成16年(2004) 6 月	第 2 分団	宮 上	・ 県大会（第44回）出場
平成18年(2006) 6 月	第 6 分団	鍛冶屋	
平成20年(2008) 6 月	第 4 分団	城 堀	
平成22年(2010) 6 月	第 6 分団	鍛冶屋	・ 県大会（第47回）出場 最優秀賞（優勝） ・ 全国大会（第22回）出場 敢闘賞
平成24年(2012) 6 月	第 6 分団	鍛冶屋	・ 県大会（第48回）出場 優秀賞（第 4 位）
平成26年(2014) 6 月	第 6 分団	鍛冶屋	・ 県大会（第49回）出場 優秀賞（第 4 位）
平成28年(2016) 6 月	第 2 分団	宮 上	・ 県大会（第50回）出場 優秀賞（第 2 位）
平成30年(2018) 6 月	第 6 分団	鍛冶屋	・ 県大会（第51回）出場 優秀賞（第 4 位）
令和 2 年(2020) 6 月	中 止		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、町・県・全国大会が中止となる。
令和 3 年(2021) 6 月	中 止		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、町・県・全国大会が中止となる。
令和 4 年(2022) 6 月	第 5 分団	門 川	・ 県大会（第54回）出場 優秀賞（第 2 位）
令和 6 年(2024) 6 月	第 2 分団	宮 上	・ 県大会（第55回）出場 最優秀賞（優勝）

☆☆☆ ロゴタイプについて ☆☆☆

当消防本部のロゴタイプとして平成13年に職員が考案したもので、中心の図は町章に消防隊を表す梯子、救助隊を表すカラビナ、救急隊を表すギリシャ神話に登場する救急医療の神であるヘビを図案化し、職員が一丸となって任務遂行し消防使命達成することを表しています。



令和6年版

湯河原町消防年報

令和6年7月発行

編集と発行

湯河原町消防本部

〒259-0303 湯河原町土肥一丁目5番地の22

TEL 0465-60-0119 (代表)

60-0177 (警防課)

60-0178 (消防総務課)

60-0179 (消防署)

FAX 0465-63-7666

